



茨城県

# 茨城県景気ウォッチャー調査

(平成25年12月調査分)

## 《景気の現状判断DI》

	平成25年9月	平成25年12月	前回調査比
茨城県	50.4	<b>54.3</b>	+3.9
県北地域	47.7	<b>56.4</b>	+8.7
県央地域	52.9	<b>49.6</b>	△3.3
鹿行地域	46.9	<b>57.7</b>	+10.8
県南地域	53.9	<b>60.1</b>	+6.2
県西地域	50.5	<b>48.7</b>	△1.8

## 《景気の先行き判断DI》

	平成25年9月	平成25年12月	前回調査比
茨城県	51.2	<b>54.2</b>	+3.0
県北地域	50.0	<b>50.9</b>	+0.9
県央地域	50.8	<b>54.8</b>	+4.0
鹿行地域	51.3	<b>55.5</b>	+4.2
県南地域	50.5	<b>55.3</b>	+4.8
県西地域	53.2	<b>54.3</b>	+1.1

平成26年1月

茨城県企画部統計課

## 目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
1	全県の動向	3
	(1) 景気の現状判断D I	3
	(2) 景気の先行き判断D I	4
2	地域別の動向	5
	(1) 景気の現状判断D I	5
	(2) 景気の先行き判断D I	8
3	回答率	10
III	景気の判断コメント	11
1	景気の現状判断コメント	11
2	景気の先行き判断コメント	21
3	その他の意見	31

問い合わせ先  
茨城県統計課庶務・企画分析グループ TEL:029-301-2642  
ホームページアドレス  
<http://www.pref.ibaraki.jp/tokei/betu/bukka/watch/index.html>

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

## 2 調査の範囲

### (1)対象地域

県下全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市及び郡は以下のとおりである。 ※平成25年12月1日現在

地域	市 及 び 郡
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、那珂郡、久慈郡
県央地域	水戸市、笠間市、小美玉市、東茨城郡
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

### (2)調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

#### 【地域別・業種別調査客体系数】

業種名	具体例	県北地域	県央地域	鹿行地域	県南地域	県西地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等	37	39	38	37	36	187
企業関連	製造業（食料品、一般機械器具等）、建設業、金融業	18	16	17	18	19	88
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等	5	5	5	5	5	25
	計	60	60	60	60	60	300

## 3 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断（方向性）
- (2) (1) のコメント（理由）
- (3) 景気の先行きに対する判断（方向性）
- (4) (3) のコメント（理由）
- (5) その他景気に関する意見（自由回答）

## 4 調査月及び調査期間

調査月は3月、6月、9月及び12月の年4回である。平成25年12月調査の調査期間は、平成25年12月1日から平成25年12月31日である。

## 5 利用上の注意

- (1) D I (Diffusion Index) は景気の方角性 (景気が上向きか下向きか) をみるものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第 1 位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は 100% とならない場合がある。

### ※DI(Diffusion Index)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり 5 段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比 (%) に乗じて、景気の方角性をみるための指標 (D I) を算出している。

回答区分	良くなって いる	やや良くな っている	変わらない	やや悪くな っている	悪くなって いる
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

- 2 具体例  
回答者数 100 名で、回答内訳が以下の場合。

良くなって いる	やや良くな っている	変わらない	やや悪くな っている	悪くなって いる
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は

良くなって いる	やや良くな っている	変わらない	やや悪くな っている	悪くなって いる
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、D I 値は、

$$(1 \text{点} \times 15.0\%) + (0.75 \text{点} \times 27.0\%) + (0.5 \text{点} \times 25.0\%) + (0.25 \text{点} \times 11.0\%) + (0 \text{点} \times 22.0\%) = 50.5 \text{となる。}$$

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は、 $(0.5 \text{点} \times 100\%) = 50$  となることから、50 を上回っているときは、景気は上昇局面にあり、また 50 を下回っているときは、景気は下降局面にあるといえる。

## Ⅱ 調査結果の概要

### 1 全県の動向

#### (1)景気の現状判断DI

景気の現状判断DIは54.3となった。平成25年9月の調査（以下、「前回調査」という。）より3.9ポイント上昇し、横ばいを表す50を2期連続で上回った。

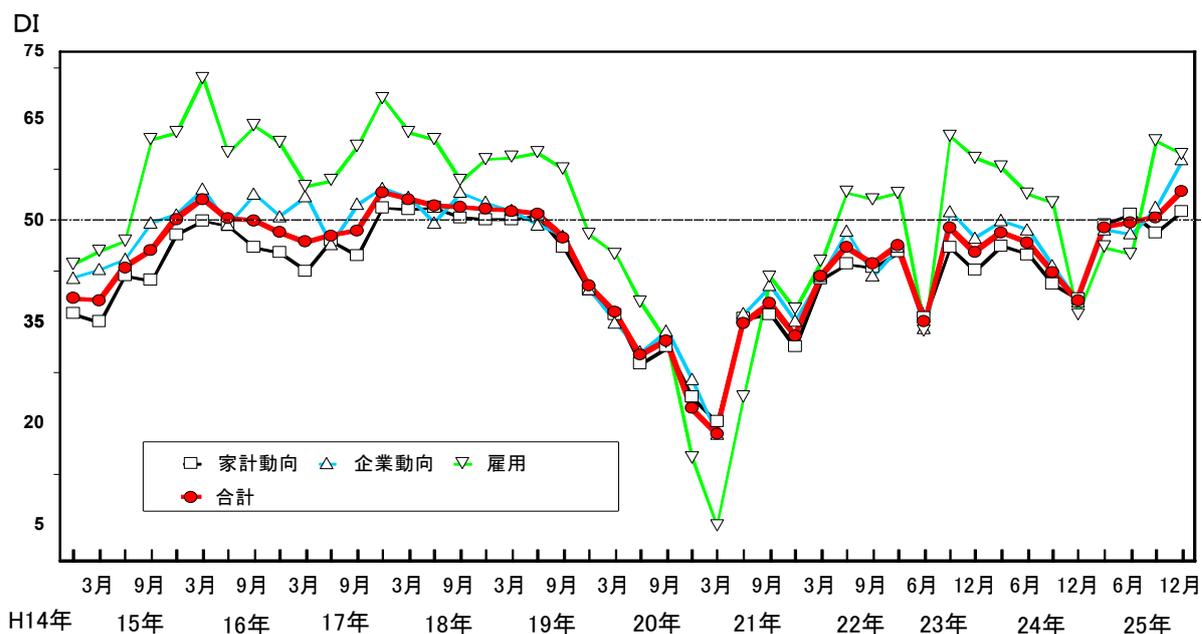
表1-1 景気の現状判断DI

分野	調査年月	平成24年 12月	平成25年 3月	平成25年 6月	平成25年 9月	平成25年 12月
<b>合計</b>		<b>38.2</b>	<b>48.9</b>	<b>49.7</b>	<b>50.4</b>	<b>54.3</b>
<b>家計動向関連</b>		<b>38.4</b>	<b>49.4</b>	<b>51.0</b>	<b>48.2</b>	<b>51.3</b>
小売関連		37.3	48.5	51.4	46.7	55.0
飲食関連		41.7	50.0	47.6	46.3	42.5
サービス関連		37.5	48.5	50.0	49.3	49.3
住宅関連		47.2	61.1	63.9	55.6	58.3
<b>企業動向関連</b>		<b>38.1</b>	<b>48.6</b>	<b>48.1</b>	<b>52.0</b>	<b>59.0</b>
農林水産業		50.0	37.5	50.0	54.2	50.0
製造業		34.5	42.4	46.3	52.2	56.1
非製造業		39.6	58.3	50.0	51.4	64.8
<b>雇用関連</b>		<b>36.1</b>	<b>46.1</b>	<b>45.0</b>	<b>61.8</b>	<b>59.8</b>

表1-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成24年12月	0.4%	10.8%	42.2%	34.3%	12.3%
平成25年3月	1.5%	24.3%	48.9%	19.0%	6.3%
平成25年6月	0.3%	26.6%	49.7%	18.2%	5.2%
平成25年9月	1.4%	21.3%	59.6%	12.6%	5.1%
平成25年12月	3.6%	32.1%	46.6%	13.4%	4.3%

図1-1 景気の現状判断DIの推移



## (2)景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは54.2となった。前回調査より3.0ポイント上昇し、横ばいを表す50を4期連続で上回った。

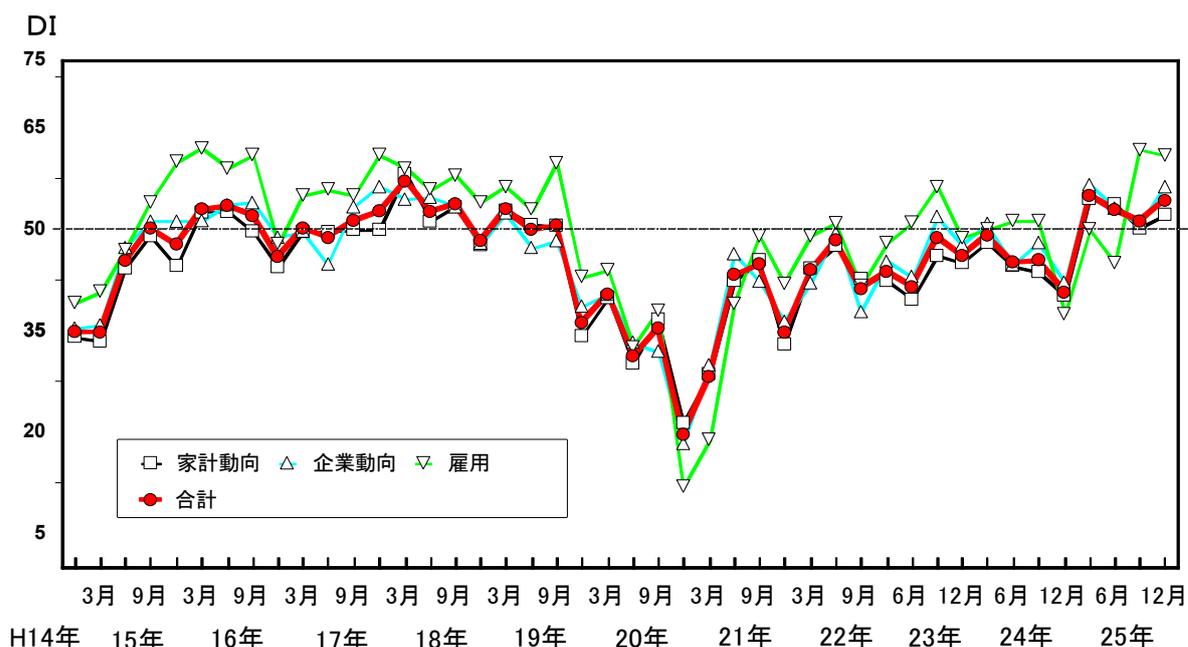
表1-3 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成24年	平成25年	平成25年	平成25年	平成25年
		12月	3月	6月	9月	12月
<b>合計</b>		<b>40.7</b>	<b>54.9</b>	<b>52.9</b>	<b>51.2</b>	<b>54.2</b>
<b>家計動向関連</b>		<b>40.3</b>	<b>54.5</b>	<b>53.7</b>	<b>50.1</b>	<b>52.2</b>
小売関連		42.3	50.8	52.4	50.7	56.8
飲食関連		35.7	54.8	52.4	46.3	42.5
サービス関連		38.9	55.6	53.4	49.7	50.3
住宅関連		47.2	72.2	69.4	58.3	52.8
<b>企業動向関連</b>		<b>42.2</b>	<b>56.6</b>	<b>53.1</b>	<b>50.9</b>	<b>56.3</b>
農林水産業		50.0	40.6	53.6	45.8	50.0
製造業		39.3	54.1	50.5	50.0	53.9
非製造業		43.8	63.2	56.3	52.8	60.9
<b>雇用関連</b>		<b>37.5</b>	<b>50.0</b>	<b>45.0</b>	<b>61.8</b>	<b>60.9</b>

表1-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成24年12月	0.4%	9.0%	54.2%	26.0%	10.5%
平成25年3月	3.0%	35.8%	41.8%	16.4%	3.0%
平成25年6月	1.4%	28.3%	53.1%	14.7%	2.4%
平成25年9月	1.8%	28.9%	46.6%	17.7%	5.1%
平成25年12月	3.2%	32.5%	44.8%	16.6%	2.9%

図1-2 景気の先行き判断DIの推移



## 2 地域別の動向

### (1)景気の現状判断DI

#### ① 県北地域

景気の現状判断DIは56.4となった。前回調査より8.7ポイント上昇し、横ばいを表す50を9期ぶりに上回った。

表2-1 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成24年 12月	平成25年 3月	平成25年 6月	平成25年 9月	平成25年 12月
合計		33.9	44.5	42.1	47.7	56.4
	家計動向関連	32.4	45.7	43.4	42.4	50.7
	企業動向関連	35.5	43.1	42.1	55.3	67.6
	雇用関連	41.7	41.7	31.3	58.3	56.3

表2-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成24年12月	0.0%	12.5%	32.1%	33.9%	21.4%
平成25年3月	4.0%	18.0%	42.0%	24.0%	12.0%
平成25年6月	0.0%	15.8%	50.9%	19.3%	14.0%
平成25年9月	1.8%	18.2%	58.2%	12.7%	9.1%
平成25年12月	7.3%	30.9%	45.5%	12.7%	3.6%

#### ② 県央地域

景気の現状判断DIは49.6となった。前回調査より3.3ポイント低下し、横ばいを表す50を4期ぶりに下回った。

表2-3 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成24年 12月	平成25年 3月	平成25年 6月	平成25年 9月	平成25年 12月
合計		38.9	50.5	50.4	52.9	49.6
	家計動向関連	40.4	52.2	51.4	51.9	50.7
	企業動向関連	35.3	47.1	48.5	51.5	46.9
	雇用関連	41.7	50.0	50.0	68.8	50.0

表2-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成24年12月	0.0%	11.1%	42.6%	37.0%	9.3%
平成25年3月	0.0%	33.3%	42.6%	16.7%	7.4%
平成25年6月	0.0%	31.0%	41.4%	25.9%	1.7%
平成25年9月	1.7%	23.3%	61.7%	11.7%	1.7%
平成25年12月	0.0%	26.3%	50.9%	17.5%	5.3%

### ③ 鹿行地域

景気の現状判断DIは57.7となった。前回調査より10.8ポイント上昇し、横ばいを表す50を2期ぶりに上回った。

表2-5 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成24年	平成25年	平成25年	平成25年	平成25年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		39.7	47.3	52.2	46.9	57.7
家計動向関連		36.5	45.8	53.4	45.9	55.0
企業動向関連		51.8	48.3	46.9	46.4	63.3
雇用関連		30.0	55.0	60.0	55.0	60.0

表2-6 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成24年12月	0.0%	12.5%	41.1%	39.3%	7.1%
平成25年3月	0.0%	17.9%	57.1%	21.4%	3.6%
平成25年6月	0.0%	31.0%	48.3%	19.0%	1.7%
平成25年9月	0.0%	10.7%	71.4%	12.5%	5.4%
平成25年12月	3.6%	30.9%	58.2%	7.3%	0.0%

### ④ 県南地域

景気の現状判断DIは60.1となった。前回調査より6.2ポイント上昇し、横ばいを表す50を4期連続で上回った。

表2-7 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成24年	平成25年	平成25年	平成25年	平成25年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		41.0	56.1	50.5	53.9	60.1
家計動向関連		44.5	57.3	52.2	53.3	56.5
企業動向関連		37.5	58.3	48.6	52.8	66.2
雇用関連		25.0	37.5	41.7	66.7	62.5

表2-8 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成24年12月	0.0%	7.5%	56.6%	28.3%	7.5%
平成25年3月	3.8%	32.1%	49.1%	15.1%	0.0%
平成25年6月	0.0%	23.6%	58.2%	14.5%	3.6%
平成25年9月	3.9%	27.5%	52.9%	11.8%	3.9%
平成25年12月	5.8%	42.3%	40.4%	9.6%	1.9%

⑤ 県西地域

景気の状態判断DIは48.7となった。前回調査より1.8ポイント低下し、横ばいを表す50を3期ぶりに下回った。

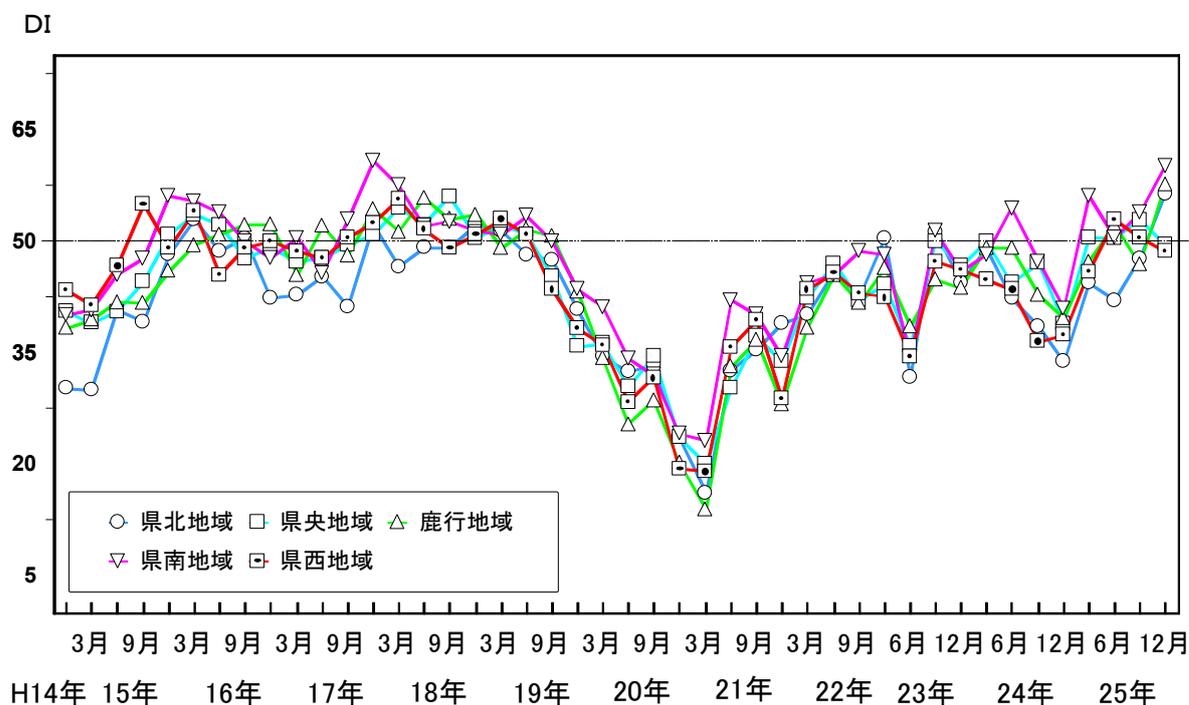
表2-9 景気の状態判断DI

分野	調査月	平成24年 12月	平成25年 3月	平成25年 6月	平成25年 9月	平成25年 12月
合計		37.5	45.9	53.0	50.5	48.7
家計動向関連		38.9	46.1	54.4	47.7	44.3
企業動向関連		33.3	46.1	53.8	52.6	51.4
雇用関連		43.8	43.8	37.5	62.5	70.0

表2-10 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成24年12月	1.7%	10.3%	39.7%	32.8%	15.5%
平成25年3月	0.0%	20.0%	52.7%	18.2%	9.1%
平成25年6月	1.7%	31.0%	50.0%	12.1%	5.2%
平成25年9月	0.0%	27.3%	52.7%	14.5%	5.5%
平成25年12月	1.7%	31.0%	37.9%	19.0%	10.3%

図2-1 地域別現状判断DIの推移



## (2)景気の先行き判断DI

### ① 県北地域

3か月先の景気の先行き判断DIは50.9となった。前回調査より0.9ポイント上昇し、横ばいを表す50を2期ぶりに上回った。

表2-11 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成24年	平成25年	平成25年	平成25年	平成25年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		38.8	52.0	54.4	50.0	50.9
家計動向関連		39.0	51.7	55.1	46.2	45.6
企業動向関連		40.8	52.8	59.2	55.3	58.8
雇用関連		25.0	50.0	25.0	58.3	62.5

表2-12 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成24年12月	0.0%	7.1%	57.1%	19.6%	16.1%
平成25年 3月	4.0%	34.0%	32.0%	26.0%	4.0%
平成25年 6月	0.0%	36.8%	49.1%	8.8%	5.3%
平成25年 9月	1.8%	27.3%	49.1%	12.7%	9.1%
平成25年12月	1.8%	36.4%	30.9%	25.5%	5.5%

### ② 県央地域

3か月先の景気の先行き判断DIは54.8となった。前回調査より4.0ポイント上昇し、横ばいを表す50を4期連続で上回った。

表2-13 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成24年	平成25年	平成25年	平成25年	平成25年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		41.2	58.8	53.9	50.8	54.8
家計動向関連		40.4	58.1	54.7	51.9	56.3
企業動向関連		45.6	63.2	51.5	47.1	51.6
雇用関連		25.0	41.7	56.3	56.3	55.0

表2-14 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成24年12月	0.0%	11.1%	48.1%	35.2%	5.6%
平成25年 3月	5.6%	42.6%	33.3%	18.5%	0.0%
平成25年 6月	3.4%	27.6%	51.7%	15.5%	1.7%
平成25年 9月	1.7%	23.3%	56.7%	13.3%	5.0%
平成25年12月	1.8%	28.1%	57.9%	12.3%	0.0%

③ 鹿行地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは55.5となった。前回調査より4.2ポイント上昇し、横ばいを表す50を4期連続で上回った。

表2-15 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成24年 12月	平成25年 3月	平成25年 6月	平成25年 9月	平成25年 12月
合 計		39.7	52.2	51.3	51.3	55.5
	家計動向関連	37.8	50.7	53.4	48.6	54.3
	企業動向関連	42.9	53.3	46.9	55.4	56.7
	雇 用 関 連	45.0	60.0	50.0	60.0	60.0

表2-16 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成24年12月	0.0%	5.4%	57.1%	28.6%	8.9%
平成25年 3月	0.0%	30.4%	53.6%	10.7%	5.4%
平成25年 6月	0.0%	24.1%	58.6%	15.5%	1.7%
平成25年 9月	0.0%	32.1%	44.6%	19.6%	3.6%
平成25年12月	3.6%	36.4%	40.0%	18.2%	1.8%

④ 県南地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは55.3となった。前回調査より4.8ポイント上昇し、横ばいを表す50を4期連続で上回った。

表2-17 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成24年 12月	平成25年 3月	平成25年 6月	平成25年 9月	平成25年 12月
合 計		43.9	59.0	53.2	50.5	55.3
	家計動向関連	44.5	60.5	52.2	51.7	54.0
	企業動向関連	44.4	58.3	56.9	47.2	58.8
	雇 用 関 連	33.3	50.0	41.7	58.3	50.0

表2-18 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成24年12月	0.0%	7.5%	67.9%	17.0%	7.5%
平成25年 3月	3.8%	43.4%	39.6%	11.3%	1.9%
平成25年 6月	1.8%	25.5%	56.4%	16.4%	0.0%
平成25年 9月	2.0%	33.3%	33.3%	27.5%	3.9%
平成25年12月	1.9%	34.6%	48.1%	13.5%	1.9%

⑤ 県西地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは54.3となった。前回調査より1.1ポイント上昇し、横ばいを表す50を4期連続で上回った。

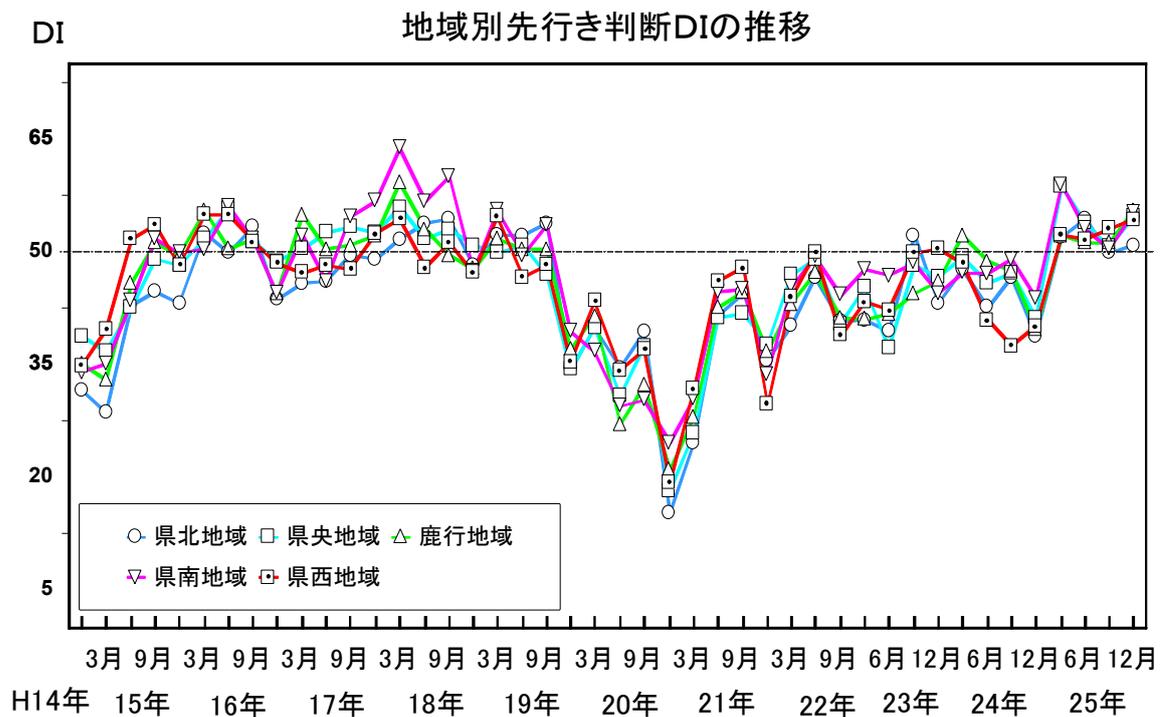
表2-19 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成24年	平成25年	平成25年	平成25年	平成25年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		40.1	52.3	51.7	53.2	54.3
家計動向関連		40.3	51.6	52.9	52.3	50.7
企業動向関連		37.5	55.3	50.0	50.0	55.6
雇用関連		50.0	43.8	50.0	75.0	75.0

表2-20 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成24年12月	1.7%	13.8%	41.4%	29.3%	13.8%
平成25年 3月	1.8%	29.1%	49.1%	16.4%	3.6%
平成25年 6月	1.7%	27.6%	50.0%	17.2%	3.4%
平成25年 9月	3.6%	29.1%	47.3%	16.4%	3.6%
平成25年12月	6.9%	27.6%	46.6%	13.8%	5.2%

図2-2 地域別先行き判断DIの推移



### 3 回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	277 人	92.3%
県北地域	60 人	55 人	91.7%
県央地域	60 人	57 人	95.0%
鹿行地域	60 人	55 人	91.7%
県南地域	60 人	52 人	86.7%
県西地域	60 人	58 人	96.7%

### Ⅲ 景気の判断コメント — 1 景気の現状判断コメント

#### (1) 県北地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良くなっている	家計	スーパー	客単価・一点単価が上昇している。ボリューム品（量目）は少ない傾向になっているが、みかん・りんごなど高品質で美味しい商品が売れている。テナント・衣料も価格競争は厳しいが、売上げは上がっている。
		観光型ホテル	電話での問合せなどが増加した。
	企業	林業関係者	材価が高くなり、木材の流通が良くなったと思われる。ただ、市場次第なので長続きするか不安である。
		製造業（精密機器）	今年の納期の仕事の受付は無理だという同業者が出てきた。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	年度末と消費税増税のため、3月末までの仕事が増えてきている。
		自動車販売店	消費税のアップによる駆け込み需要が感じられる。
		小売業（時計）	複数の買い上げが少し増えてきている。
		観光型ホテル	前年同期と比較して、日帰り宴会利用が増加し、売上も伸びている。
		ドライブイン	今期は、昨年対比が売上、客数とも上回りました。しかし、震災前までとはいかないです。
		ボウリング場	お客様とお話の中で、残業等が増えているとのこと。
		ゴルフ場	10～12月各1日の予約状況が、7～9月各1日の予約状況70ポイントのペースであったところ、83ポイントのペースで来場者が増えている。近隣練習場の利用状況が、まだら減少であるが、全体的に活気あり。10月の台風で9日間で400名程度キャンセルがあったが、11月で挽回し、前年比113%で推移した。
	住宅販売会社	駆け込み需要がほとんどなかった分、その反動もなく、堅調に動きがみられる。	
	企業	製造業（製缶）	受注量の増加がみられる。
		製造業（電気機械器具）	仕事量が増えてきている。原子力の安全に関する研究や試験に関する物や液晶関連の仕事が好調である。
		製造業（電気機械器具）	受注量が少し増えた。
		製造業（電気機械器具）	いろいろな業種からの試作依頼があり、内容からみて多少なりとも景気回復の兆しが見える。
		建設業	依然として物件数は多いので、設備投資意欲は高まっていると思う。
		運輸業	円安、または海外の景気の影響で、輸出企業の動きが良くなってきた。
情報通信業（情報サービス業）		商談は少しずつであるが増えてきている。	
不動産業		住宅業界においては消費税決定に伴う駆け込み需要があった。	
雇用	学校就業関係者	高校生の就職状況が良く、当校への応募者数が減っている。	
変わらない	家計	スーパー	目を引く商品、話題の商品の動きが鈍い。ギフト等の商品は低価格化している。
		スーパー	来客数は少し減ったが、売り上げはほぼ同じである。
		コンビニエンスストア	大規模店においては人が集まり、良いと思われるが、一方、小規模店において悪い状況と思われる。
		コンビニエンスストア	市内の企業関連の動きがそれほど大きくはない。（地元大手企業関連の転籍なども、現段階で大きくは影響していない。）
		小売業（工具）	見積もり依頼件数が増えていない。副資材、消耗品の受注に変化がない。
		小売業（弁当・惣菜店）	売上げ等は変化がない。
		小売業（燃料）	売上高、販売量に大きな変化はない。
		小売業（酒類）	良くなってもらいたいと期待しているが、現実には、昨年より厳しい状況であり、先が見えない。
		小売業（水産物）	景気の上昇の気配が感じられない。
		スナック	新築や、新車購入が増えてるけど、消費税増税対策だと思う。
		タクシー運転手	仕事の現状からみても、ほとんど横ばいになっています。
		タクシー運転手	東京オリンピック開催の決定があり、前途が多少明るくなって景気の軽い上昇が見られると思ったが、それほどでもなく、雰囲気的には悪くないが先延ばしの感じで景気は変わらないとなった。
		レジャー施設	客単価の横ばいが続いており、お客様の商品等の購入意欲に変更がみられない。
		ゴルフ場	お客様のリピート率が徐々に上がり来場が増えてきているが、単価も下がり売上も減少傾向である。

変わらない	企業	水産業関係者	変化を感じなかった。
		製造業（電気機械器具）	普段の仕事や、仕事を通して接するお客様の様子から判断すると、あまり変化が感じられない。
		製造業（電気機械器具）	今月の前年比、3か月前の前年比とも横ばい状態なので、景気は変わらない。
		製造業（電気機械器具）	景気が上がっているようにも、下がっているようにも感じられず、特段変化がみられない。
		製造業（輸送用機械器具）	国内販売は軽自動車やハイブリット車等燃費改善を図ったものや衝突回装置を搭載した新車を自動車メーカーが競って市場投入していることにより好調な販売が続いている。又、欧州・タイを除く北米、中国、東南アジア等地域でも日本の自動車メーカーの善戦が続いている。しかし、海外生産は現調化の影響もあって、現状の生産計画の大幅な増加には結びついていない。
		金融業	3か月前に比べ良くも悪くもなく大きな変化は見られない。既存の貸出金に対する条件変更の相談も多い。
雇用	求人広告	企業・店舗の方と話をしても良くも悪くも変わらないという答えが大半を占めていた事が一点。もう一点は仕事の発注量に大きな変化を感じないため、景気は変わらないと判断した。	
	公共職業安定所	当所の8月から10月の新規求人数をみると、対前年同月比で8月がマイナスであったのに対し、9月、10月でプラス幅が増しており、しばらく減少傾向で推移していたが増加に転じてきた。対して新規求職者は、増加傾向で推移してきたが、10月は減少に転じている。窓口等で管内の事業所に現況をたずねると、これからの仕事がどの程度入ってくるか、現状では分からない状況であり、不安であるとの声も聞かれ、依然として厳しい状況に感じる。	
	求人開拓員	自動車関連製造業・電子部品製造業界では、生産増加に伴い採用を増やしているが、派遣での対応なので本来の景気上昇とは思えない。	
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	年金の減額、福祉費の増による消費マインドの低下がみられる。少子高齢化による、社会全体の暗さが将来に対する不安材料か。個人の可処分所得が少なくなっている。
		衣料品販売店	ある物で間に合わせている傾向がある。
		農産物直売所	客単価が低い。
		中国料理	12月はボーナス支給があり、3か月前より客数、客単価が上がるはずなのですが、上がりず、宴会での予算金額も下がってきています。
		タクシー運転手	飲食店のお客様もむらがあり、少しずつ悪くなっているようです。
		ゴルフ場	冬の賞与が出せない。業績が年々悪くなっている。
		クリーニング店	客単価と客数ともに減少している。
悪	家計	居酒屋	来客数が少ない。

## (2) 県央地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	－	－	－
やや良くなっている	家計	百貨店、総合スーパー	歳暮、クリスマス商戦中で、いつもの月より来店客数が増えており、商品ギフト、アクセサリなどの宝飾品の売上げが伸びている。
		スーパー	買い上げ率、客単価も少しアップしている。
		コンビニエンスストア	年末商材で、高単価商材の動きが良い。新規商品等、目新しい商材がよく売れている。
		コンビニエンスストア	お客様が金額ではなく質や内容をよく見た上で、価値があれば少し高くても買ってもらえるようになってきた。
		自動車販売店	消費税の駆け込み需要も影響して、コンパクトカーを中心に前年を1～2割伸ばしている。
		割烹料理店	忘年会シーズンに入り、お客様の動きも多くなってきている。
		タクシー運転手	今月は、企業のボーナス支給がある。売り上げについて今月の前年比と3か月前の前年比を比べると、今月の前年比の伸び率が良くなっているので、景気は少し良くなっていると判断する。
		タクシー会社	11月の売上げから景気動向は上向きの流れにあると判断します。法人取引先の利用頻度も向上しており、一般客を含めて上昇傾向にあります。
		ドライブイン	地震の影響で台湾のツアーが止まっていましたが、少しずつ食事の予約がありました。遠方からの予約も少しずつ戻ってきているように思います。
		観光名所	弊社に来館するお客様の来館者数や昨年に対する売上高の増加により、購買意欲が上昇し、景気は上向いていると思う。団体でのツアー客が増えているので、観光にも目を向ける余裕が出てきているのではないかと。
	建築設計事務所	同業事務所からは人手不足の話が多く聞かれる。	
	企業	製造業(金属製品)	仕事の量は以前より高い稼働率を維持している。単価も緩やかに上昇してきている。
		運輸業(道路貨物運送業)	貨物の動きが良くなっている。建築資材等の輸送は大きく増えている。
	雇用	公共職業安定所	11月現在の状況を見ると、有効求職者数は9月に比べ減少した。これは例年にみられる状況であるが、昨年と比較しても、大幅に減少している。有効求人数は増加、有効求人倍率は0.9倍台となり、数字の上では改善傾向にあるが、全国の状況(10月0.98倍)を依然として下回る状況となっている。
求人開拓員		緩やかですが求人件数・新規求人件数・募集人数が伸びております。又、正社員も緩やかですが求人件数・新規求人件数・募集予定人数が伸びております。業種別に見ますと製造業が求人件数・新規求人件数・募集予定人数が大幅に増えており回復基調にあると思われる。	
変わらない	家計	商店街代表者	毎年、11月、12月は年賀状の印刷を受注して大変忙しくなりますが、年々厳しい状態で景気が良くありません。120種類の見本を用意して、チラシやダイレクトメールで新規顧客を開拓しておりますが、一人一人の印刷受注枚数が減ってきており、高額なデザイン印刷や金箔印刷も減ってきています。しかし、自分なりのオリジナルなデザインや写真を加工したデザイン、自分なりの文章、書家が書いたような文字の印刷等が持ち込まれ、こだわりの年賀状の受注が増えました。ただ、複雑化や値段交渉で、他店で出来なかつたり、断られたものも多く、お客様からは「価格は安く納期はどこよりも早くしてください」との要望が多く時間がかかり、価格が技術力、労働力に見合っていないのが悩みの種です。
		スーパー	慎重にお買い物をする流れは変わっていない。ただ、高額品でもこれは…という品については、購入していく方は少し増えたような気がします。
		スーパー	消費税は伸びていない。食料品は安い物しか売れない。ただ、一部に高い洋酒や焼酎を買う動きもあるので、お金の余裕のある方もいるようだ。
		家電販売店	売上げは伸びず、お客様も不景気だと言う。
		農産物直売所	常陸牛等の高額ギフトや嗜好性の高い商品の動きが横ばいである。レストランの外出するお客様の人数は横ばいである。
		専門スーパー	3か月前と客数、単価、売上高等改善していないので、景気が良くなっているとは思われない。また以前より、安くしても必要な物しか買わなくなってきたように思われる。
		スーパー	商圏内に大手の輸出企業がないせいか、地域経済が好転している感じがしない。
		タクシー運転手	タクシーを利用する方は年金暮らしの人が多いです。景気が良くなれば年金の額が増えれば別ですが。このようなことで、変わらないです。
		タクシー会社	月平均の乗務員一人当たりの平均営業回数(何回お客様を乗車させたか)が横ばい状況である。
		ゴルフ場	予約申し込み時にパーティの依頼があるが、パーティの単価が前3か月変わらない。
		レジャー施設	新規契約の申し込みはない。解約についても申し出はない。
		レジャー施設	震災からの回復傾向にあり、入場者数も順調ではあるが、大きな変化は感じられない。
理・美容店	特に売上、客数ともに、伸びているわけではない。		

変 わ ら な い	企業	製造業(食料品)	売上げも伸び悩んでおり、特に大きな変化は見られない。
		製造業(食料品)	10月ほど天候が悪くないので、人の出が多そうだが、上昇とまではいかない。
		製造業(印刷・同関連業)	受注量が減少している。
		製造業(窯業・土石製品)	受注が増加していない。
		製造業(一般機械器具)	テレビ、新聞、安倍総理は大変元気が良いですが、我々中小はまだまだ実感がありません。
		情報通信業(情報サービス業)	首都圏からは、景気回復の様子が聞こえるが、地場市場では、一部の企業以外は思っていた程の商談ボリュームが膨らまず、景気は足踏み状態であったと思える。消費税アップが、商談前倒しに繋がる期待はあったが、目立った動きなし。
		金融業	依然として飲食業、小売業、製造業などにおいて売上改善に至っていない状況にある。
		不動産業	消費税のからみで住み替えなど需要があると思うが、契約金や家賃などの交渉もシビアでまだまだ厳しそうである。
		サービス業(広告業)	昨年対比、販促広告出稿数が同じ。
		サービス業(コンサルタント業)	景気への期待感からか、市街化区域では土地を売却する方が減っているように思われる。(土地の高騰への期待感)また、一方で調整区域では、太陽光発電等の開発などにより活発に動いているように思われる。
雇用	人材派遣業	お客様からのオーダーは増えたが、派遣する人材が不足している。	
	学校就業関係者	今月は3か月前と比較して、特に状況は変化していない。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	百貨店、総合スーパー	商品業界は、値上げ品が多い。売価への転嫁が遅れています。(為替の影響などで、さらに値上げがくると思います。)消費税アップ前で、耐久消費財へお金を使って、食品へは減らしていると思う。
		スーパー	消費税アップ前で、食費より大型消費とか、耐久消費財へ使われているのではないかと思います。
		レストラン	競合施設の増加も影響があつてか、予約数が減少傾向にあり、景気の良さは感じられない。
		都市型ホテル	忘年会シーズンに入ったが、例年、昨年と比較して予約状況が悪い。
		観光型ホテル	エリアの話題性に乏しく、団体客が減少傾向(富士山、美保の松原、伊勢式年遷宮などの影響か)にあり個人客についても旅行シーズンとしては弱含みのような気がする。
		ボウリング場	昨年に比べて、お客様一人の来場回数が少なくなっています。
		理・美容店	年末にかけて調整しているのか…11~12月前半は暇である。12月後半期待したい。
		住宅販売会社	10月以降、来客数が大幅に減少した。
企業	農業関係者	米の相場も下落し、園芸ハウスの燃料も高騰が続き、農家収入は減少している。	
	製造業(印刷・同関連業)	売上が少々落ちており更なる努力が求められている。	
悪	家計	旅行会社	忘年会の旅行なども年々少なくなり、問い合わせも数えるほど少なくなっています。企画などもしておりますが、なかなか満車になることがない。
	企業	製造業(精密機械器具)	某OEM(相手先商標ブランド)先の売上が先月で一段落し、次の発注があるまで売上が計上されない。
	雇用	求人広告	支払い遅延が極端に増えた。

## (3) 鹿行地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	企業	製造業（食料品）	繁忙期に入っている。	
		建設業	鹿行地域は、新築棟数が増えている。消費税駆け込みの需要かな？	
やや良くなっている	家計	小売業（食品）	お歳暮の季節に入り、昨年注文頂いた方々から昨年並みの注文があった。新しいお客様が数名増した。	
		スーパー	アルバイトの時給アップ、働く所が増えたため、従来のお買い上げ点数がアップしている。	
		家電販売店	エコポイント・地デジ移行の影響で悪かったテレビの販売台数が戻って来つつある。	
		自動車販売店	仕事仲間との集会などで悪くなる話題が出ない。これからは良い方向の話題が出ている。	
		農産物直売所	来客数、客単価ともに、昨年を上回っている。	
		小売業（菓子販売店）	9月の売上げの対前年比は横ばいだったが、12月の売上げの対前年比はややプラスだった。	
		レストラン	飲食店経営ですが、昨年よりは早くから忘年会の予約が入ってきた気がします。お客様が、旅行、レジャーの会話が多い。消費する物の値段も上がらず安いから…？	
		観光型ホテル	高い商品（宿泊コース）が前年度対比で倍以上販売できた。	
		タクシー運転手	個人的には、出番当たり3,500円程度の売り上げは上がったが、日中の電力会社関係の仕事があったため、一部企業のみが少しタクシー利用があったということなので、全体的な景気という、まだまだと思う。夜間は特に悪く、あっても近場が多い。	
		ドライブイン	特に11月は、茨城県北部の紅葉めぐりに行く行楽客が増加した。	
	ゴルフ場	来場者増加傾向、予約推移も好調だった。		
	企業	製造業（食料品）	客数、インターネット販売が増えてきており、時期的に贈答品も多少増えて来ているので、年末年始は期待できそうである。	
		運輸業（道路貨物運送業）	秋口後半から荷物の動きが思っていたよりも活発化している。新規引き合いもあり、在庫も潤沢である。	
		運輸業（道路貨物運送業）	車両の稼働率が多少上がってきている。	
		不動産業	現在、建物を建築中ですが、鉄骨の一部部品が注文しても納期どおりでなく、たいぶ不足しているとのこと。左官工、鉄筋工などがだいぶ忙しいようです。	
	雇用	人材派遣業	年末を迎えて派遣の要請が各社から寄せられています。しかしながら色々な求人広告を始め私たちがやれる範囲の求人をやっていますが人が集まらないのが現状である。ここに来てようやく地方の生産現場も忙しくなっています。	
		民間職業紹介業	求人企業が徐々に増えてきた。	
	変わらない	家計	商店街代表者	仕入価格が上昇していて、売上げは対前年比で同程度または微増するも、粗利が圧迫を受け、利益が減少する傾向にある。
			スーパー	売上げも安定してしまっていて伸びがない。そうかといって減少もしていない。
コンビニエンスストア			買い上げ点数は高い水準で推移していますが、変化はありません。単価は若干下がり傾向ですが、タバコの影響であり、景気とは無関係ではと感じます。	
コンビニエンスストア			必要なものは購入しても、余計な物は購入しないという消費行動が見られる。セールで一時的に客数が増加したり、一部の商品の販売が上がっても、その後の底上げにつながっていない。	
小売業（酒類）			高額の麦酒・洋酒・果実酒の需要が秋以降においても伸びていない。	
小売業（薬品店）			依然として消費の回復傾向は感じられない。	
小売業（書店）			価格競争商品を取り扱っている都合上、安いお店へお客様が流れる傾向がより強い。結果的にその恩恵を受けているが、低単価傾向は変わらない。	
洋食食堂			ランチタイムの来客点数はほどほどであるが、夜のお客様が少ない。	
割烹料理店			時期的には忙しい時期で、予約は入ってきているが、予約のない日は3か月前と変わらず客足は伸びない。	
日本料理店			前々年より前年の方が悪いので。客数は増えているが、単価が下がっているので変わらない。	
タクシー運転手			特定（ビジネス）客をのぞき、周辺の一般客が少なく、不安定に感じる。	
タクシー運転手			10月以降は、電力会社の工事関係での受注業務はあるものの、一般の乗客は少なく、トータルでは変わらない。	
タクシー運転手			今回、年末の繁忙期になり、売上げが伸びると思いましたが、客足が伸びずあまり変わってこないように思います。	
和食食堂			地域性もあり、固定客が中心で、新規の掘り起こしが難しいのが現実です。一人ひとりのお客様を大切に、現状維持に努めています。以上から景気は良くなったとは感じていません。	

変 わ ら な い	家計	レジャー施設	当施設における来場者数等の動向からは、変わらないと思われる。
		理・美容店	3か月前と比較して、世間が何も変化していない。
		室内装飾業	この暮れに近づいたら部屋を綺麗にしたいと依頼が若干ありましたが、まだまだ力強い景気が見受けられない。
		住宅販売会社	お客様の動向や意識に大きな変化は見られない。
	企業	製造業（食料品）	購買意欲が見受けられない。購買単価が低い。この地域ではアベノミクスの影響がない。
		製造業（食料品）	原料インフレ・売価デフレ状態が持続している。
		製造業（輸送用機械器具）	私の会社は、自動車部品加工を行っておりますが、一度海外へ生産シフトされた量が、日本に戻ることはありえない。国内生産量だけでは変わらない。
		製造業（化学工業）	需要は安定してきているが、原燃料が高止まっているため収益が伸びない。価格転嫁はほぼ難しい状況。
		建設業	慢性的な人手不足に伴い、景気上昇に関して、明るいイメージはないように思われます。
		製造業（鉄鋼業）	大きな変化はなく、高水準の生活が続いている。
		金融業	上場企業を中心とする大企業の決算発表を見る限りでは、日米欧の株高や為替相場の影響もあり、景気の上昇基調が窺えるが、当方の取引先である中小零細企業に関しては影響はほとんどなく、3ヶ月前と比較して景気は変わっていないと感じる。
		保険業	震災復旧工事も落ち着いて仕事が少なくなると思っていたところ、台風26号の集中豪雨で道路とその他に約4億円の損害が出て、土木工事関係者が忙しい。
	雇用	サービス業	弊社への顧客からの受注件数のみならず、引き合い・問い合わせは顕著に増加していない。製造業を相手に業務展開を行うサービス業であるため、製造部門の予算増などの変化はこれからと考えている。
		公共職業安定所	製造業などでは引き続き、製品等の輸出増による収益増と、原材料輸入コスト増による収益減の両面がある
		学校就職関係者	就職内定状況、企業からの追加の求人についても変化がない。
	やや悪くなっている	家計	就職支援センター
小売業（金物店）			大手企業同士の合併後は、構内の仕事が減りつつあります。構内の下請けの仕事が減りつつあるので、電話注文があまりありません。
理・美容店			景気の上向き感も落ち着きが出てきて、消費に対する前向きな気持ちが少し減ってきていると思います。
クリーニング店			来年消費税が上がるので、消費も買い物も慎重に考えている。年間一家族（4人）で6万円くらい増えるそうです。収入は変わらない。
		住宅販売会社	3か月前は、増税の駆け込みが少しあったが、今は冷え込んでいる。

## (4) 県南地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良くなっている	企業	製造業（窯業・土石製品）	受注も順調に推移し、一部品薄の製品もある。
		建設業	年末で工事受注が増えるのは毎年のことである。3か月前との工事受注を比較すると、多少増えてきているが、それほどではない。しかし、一般・民間からの工事問い合わせがあり、何回かお断りしている。それでも待ってしてくれる民間工事がある状況だ。確実に景気は良くなっていると判断する。
		建設業（設備工事業）	自分自身の会社はさほど変わらないが、所属する各工事店が例年にない仕事の好景気と話しています。
やや良くなっている	家計	小売業（酒類）	12月、1月にかけ、歳暮品、年始用と動くことと思われれます。また、新酒が出回ることにより、従来より来客が増えることを期待しつつあります。
		スーパー	野菜の高騰があったとはいえ、売上げが対前年比で上回ったことから、景気は回復傾向にあると感じた。
		コンビニエンスストア	お客様に価値を伝えることが出来れば、高単価商品であっても購入されることが増えている。
		小売業（生花店）	コショウラン等の高額商品の売れる数が増えている。特に建設業が伸びている（用途は新築祝い）。消費増税前の駆け込み需要で工場、病院等が多い。
		農産物直売所	11月売上げは、前年対比120%。県外からも多数来店があった。（特に土日）
		農産物直売所	少し買い上げ（売上げ）が上がっている。
		ガソリンスタンド	オリンピック東京開催が決定し、お客様の気持ちに高揚感が生まれた。
		タクシー運転手	以前より企業関係者の乗車が増加傾向にある。また、夜間の中長距離客も同様の傾向である。
		タクシー運転手	クレジットカード利用の営業マンが増加傾向にある。
		ゴルフ場	ゴルフ場に来場するお客様が料金のことをあまり細かく言わない。
		ゴルフ場	メンバー様の来場回数をもみても、一人当たりの来場回数が増えてきている。季節的なものとも一概に言えない。接待で使用する以外に、ゴルフも一つの遊びと考えれば、余裕が出て景気が上向き傾向にあるということだと思われる。
		レジャー施設	3か月前に比べて入場者数、平均購買単価が上昇している。
		建築設計事務所	福祉関係の設計が出てきた。県市町村の仕事も出てきた。
		住宅販売会社	つくばエリアに関しては、大型造成により比較的活発に動いている
		良くなっている	企業
製造業（窯業・土石製品）	先週東北の太平洋沿岸3県を訪ね各事業所の業況を確認してきましたが、東北地方のうち沿岸部は当然のことではありますが、非常に仕事が繁忙をきわめ生産が追いつかない状況です。内陸部の業者も利益の出せる沿岸地域に集中しますので、東北の中でもばらつきが出ているようです。全般的には良くなってきている感じがします。		
製造業（非鉄金属）	主力取引先の大手自動車メーカーからの発注量は依然として高水準にあり、フル操業の状態が続いている。一方では、原材料・燃料その他コスト増加要因もあって収益確保は厳しくなっている。		
建設業	年末であるので、消費税問題も関係していると思うが、来年3月までの物件が、例年より多く、また、工事職人も不足がちである。		
運輸業（倉庫業）	全体的に前と比べると出庫数も多く、生産も好調なので、やや良くなっていると思われる。		
不動産業	消費税アップ前の9月をピークに売買・賃貸・建築ともに活発でしたが、10月、11月はやや落ち込んでしまったが全般的にやや良くなっていた。ただし、業者間の格差が出ており、顧客ニーズに対応できた会社以外は厳しかった業況感でした。		
雇用	人材派遣業		
変わらない	家計	求人開拓員	このところ急激に人材派遣会社から求人登録依頼が入るようになった。自社社員の求人登録依頼は変わっていない。非正規雇用の求人が先行して増えているのではと思う。
		スーパー	野菜高騰につき売上高こそ前年を上回っているが、その他の変化がない。
		スーパー	売り上げは上がっているが、野菜の相場高に助けられている。
		スーパー	客単価、買い上げ率ともに、対前年比で変化ない。
		寿司店	お客様の来店数もほとんど常連さんで変わらず低いままです。
		都市型ホテル	宿泊需要は殆ど横這い状況で、レストラン利用は少し低下の状況、宴会は受注件数、単価共、微減の状況であります。景気としてはあまり変わらないと感じます。
都市型ホテル	当ホテルにおいては、宿泊の稼働は増加しているが、宴会・レストランの予約が多少増えてきているので、現在よりは良くなると思われる。		

変 わ ら な い	家計	タクシー運転手	TX沿線の各駅、売上げが変わらず低調である。
		旅行代理店	シーズンのものとお客が増えているように思えるが、旅行にかかる費用に関しても、まだまだ景気が良くなっているようには思えない。
		タクシー運転手	売上げ的に見て、現状維持なので、何も変わらない。
	企業	農業関係者	J A関係ではあまり変化はないようです。しかし、消費増税の影響で、資材の前倒しがある。
		製造業（家具・装備品）	店舗売上げは伸びていません。価格が低く抑えられており、本来の製品が売れない。外国製と国産の製品の善し悪しがわからないようです。
		製造業（食料品）	世の中アベノミクスで大企業は円安の影響で利益が大分出ているようですが、小企業で輸出していないところでは原料高で利益はへこんでいるのが現状です。
		製造業（飲料）	アベノミクス効果を期待したが、自分に恩恵がなかった。
		建設業	今年に入ってずっと、「今月は良かったね、少しは先が見えてきましたね」などの会話はほとんどなく、3月11日以降、これで不況から脱せるかもしれないねと、多少の期待感を持っていましたが、本当に期待はずれ。昨年より15%程度売り上げもダウンし、利益も激減する。発注先も、注文が一向に増えず、生産が伸びないので、仕事も発注できないとこぼす経営者。どこの企業も受注先も、売り上げが激減していることが悩み。
	金融業	取引先の業況等をヒアリングしているが、実感として景気は変わらない状況にある。	
	雇用	求人広告	求人マーケットの価格競争(異例のキャンペーン等)が継続している。(H25年9月頃と同等レベル。)
や や 悪 く な っ て い る	家計	和食食堂	前年より宴会予約が減っている。
		洋食食堂	予約状況から判断しました。季節的な要因は期待できず、同じ日に予約が重なってしまっても、何件もとれないのでそれっきりになります。忘年会も少ない感じです。その反面、新年会の予約は本年より多く入っていますが。
		タクシー運転手	売り上げが落ちている。
		理・美容店	じわじわとですが、髪の毛を切る周期が伸びている感じがする。冬になって寒くなってきたというのもあるのですが、それだけではないと思います。上の方の大企業は、一部良くなっているとは聞きますが、末端の理容業界は、まだまだ良くないと思います。
	企業	製造業（印刷業）	来店客数が減っている。
悪	家計	ボウリング場	夏場から対前年比で10～15%のダウンをしている。特に若者や学生層でのダウン幅が大きい。

## (5) 県西地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	不動産業	売買の来客が多い。賃貸の希望単価が上昇。
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	客数は低下傾向にあっても、客単価、買い上げ点数は上向き加減にある。
		コンビニエンスストア	客数・客単価ともに改善傾向にある。高単価商品についても、価値を感じてもらえる商品の販売は伸長しており、良い物についてはお金を払っても良いという消費者が増えているように感じます。
		農産物直売所	今年度は、各企業とも年末一時金等について、アップの情報がありますが、現状若干ではありますが、良い状況が続いています。
		和食食堂	忘年会シーズンでもあり、多少は予約が増えてきている。3か月前に比べれば、今月の方が景気はやや良くなっている。
		ビジネスホテル	人の動きが活発化している。設備投資をしている企業が多くなってきている。
		ドライブイン	来客数も徐々にではあるが増えてきており、やや明るさが見えてきた。
		ゴルフ場	売店などの購買意欲が高まっている。会員権販売も好調。当クラブは圏央道の開通による影響もあるが、オリンピック招致決定によるライフラインの整備によるものだと考えている。
		理・美容店	9月は売上げの落ちる月だが、今年は向上した。お客さんの会社も景気が良くなったと感じられる。
	建築設計事務所	計画していた工場や事務所で、いくつか動き出した案件がある。	
	企業	製造業（食料品）	季節的要因を除いても売り上げが増えてきている。高級なものも増えてきているので良い方向と考えられる。
		製造業（食料品）	雑談の中で、話の端々に自分の所でも少しずつ売上げが増えてきているとの話題が上がる。まだ期待感も含まれているが、明るい話が増えている。
		製造業（印刷・同関連業）	国会が開催中で、各法案とも強行採決ばかりでいかがかと思うが、アベノミクスは気持ちの上で、確実に地方にも浸透し始めている。株で利益を出した人が、欲しかった物（例えば高級時計等）を買うなどお金を使うし、また物が動くようになった気がする。この気持ちが大切で、何事もポジティブに考えるようになると、景気も良くなる気がする。当社も少し仕事が増え、売上げも増えている。
		金融業	建築関連の業種や製造業を主に受注増加傾向にあり、以前よりは活発化している兆しがある。
		製造業（印刷・同関連業）	円が安くなり落ち着いてきた会社があります。
雇用	人材派遣業	求人について、仕事の量が多くなった。	
	求人広告	新規出店、それに伴う採用が増えている。また既存店でも、集客が増え前年同月比、プラスで推移しているとの話を聞くことがある。前年に比べ、売上は減少している企業は少数派となっているために、そう感じている。	
	公共職業安定所	10月新規求人数は8月と比べて30%程度増加、産業別ではどの分野でも増加しているが、顕著なのが卸売・小売業であった。消費税引き上げ前の消費駆け込み対応による求人増加と思われる。	
	求人開拓員	自動車関連の仕事が増えている。	
変わらない	家計	スーパー	アベノミクスで景気は上向いていると聞かすが、中小零細企業、特に地方では、特に景気が良くなっていると実感することがないとお客様から聞くことが多い。
		家電販売店	消費税動向に対する動きが鈍い。意識はしているが、意欲は鈍い。
		専門スーパー	売れている物を分析すると、チラシ商品の構成が高く、高機能な商品にシフトしているとは言いがたい。
		都市型ホテル	特に変化はみられない。
		タクシー会社	売り上げは、前年度対比でほぼ同じ、売り上げ増に繋がる要因は現状では難しい。
		タクシー運転手	料理屋及びスナック等のタクシー依頼が少なくなっていて、夜のタクシーを利用するお客様も増えてこない。
		タクシー運転手	消費税5%が8%に変わるので、建設・建築の方々は忙しいようですが、それ以外は変わらないと思う。
		ドライブイン	観光バスの入りが多かったが、客単価の伸びはなかった。
		ゴルフ場	予約状況から判断して、変わらない。
		日本料理店	まだまだ忘年会シーズンの雰囲気がない。昨年より予約の件数が入らない。
		レジャー施設	お客様との会話の中で、好転している話は無く、今後の景気状況を様子を見ているような印象を受ける。
		住宅販売会社	お客様の購入動機等からも、特徴的な動きがみられない

変 わ ら な い	企業	農業関係者	燃料高騰など、野菜が高い。野菜の高値には、台風等も影響している。
		製造業（印刷・同関連業）	自動車会社等の輸出産業は、円安に支えられて好景気のようなのだが、印刷業関連の会社は、長期低落傾向が依然として続き、売り上げは低迷し、先の展望が見えてこない。
		製造業（窯業・土石製品）	忙しい日や週もありますが、長くは続きません。注文が少ない日の方が多いのが現状です。なぜならば、当社のお得意先や仕事をいただいている仲間同業者が仕事を持っているのが少ないのが大多数の状況です。
		製造業（金属製品）	得意先の調達方針、計画が全く見えない。ただ、低レベルながら、毎月の発注は行われている。
		製造業（一般機械器具）	良くなる話したが、仕事は今までと同じで売上げが伸びない。良くなる話しも話しかけである。
		電気工事業	良くはなっていないが、少し前までの先行き不安な状況よりはましになってきたように思われる。
		サービス業（コンサルタント業）	賑わいはあるが個人個人の懐具合は変わっていない。
	雇用	学校就職関係者	仕事量が徐々に増えることが期待されたが、おおかた変わっていない。
や や 悪 く な っ て い る	家計	商店街代表者	来年4月の消費税8%を前に買っておこうという人より、節約しよう（買うのをやめよう）という消費者の方が多い気がします。
		自動車販売店	車が売れない。
		和食食堂	ご来店客数が減り、売上げが少なくなっている。
		ラーメン店	今期と前年の同時期と比較して、やや悪くなっている。
		和食レストラン	私たちの仕事では、土日は忙しいのですが、平日が極端に落ちます。食材が円安のため高くなり、メニューをすぐ作れないために、利益が下がってくる。
		タクシー運転手	10月よりやや売上げ減。
		理・美容店	11月後半頃から、客足が遠のいている。
	企業	農業関係者	預金残高が下がってきている。
		製造業（化学工業）	半導体材料やスマホ用部材で在庫調整局面となっている。
		建設業	景気が上向きと言われているが大手企業のみのがする。
悪 く な っ て い る	家計	商店街代表者	洋服屋を120年商わしてもらっているが、これ程10月、11月と売上げが落ちた年はおとし以来だ。（何でも大型の集合店へという時代だが、それもいずれはお客様に飽きられるはずです。）一極集中型は、もっと甚だしくなるだろう。
		衣料品販売店	最悪の昨年対比（売り上げ）を更新中です。
		旅行代理店	物価が上がっているように思う。同じ値でも中身が少なくなっている。燃料費は週末が高いように思う。週半ばに給油したら良いが、仕事は週末に集中するので、なかなかうまくいかない。燃料代は変わらないようです。
		ゲームセンター	今までも前年の売り上げを超えることは難しかったが、最近さらに売り上げが落ち込んでいる。
		クリーニング店	年末にお金を使う予定なのか？今月は渋っている気がします。
企業	製造業（電気機械器具）	受注量減により、人員体制の見直しが急務である。	

### Ⅲ 景気の判断コメント — 2 景気の先行き判断コメント

#### (1) 県北地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	スーパー	良くなるということより、駆け込みでの売上げ増は見込める。ただし、4月1日以降は厳しい。
やや良くなっている	家計	スーパー	現在の株価、円相場からの判断。ただし、増税は気になるところ。
		小売業（工具）	消費税アップにより、駆け込み需要があると思われる。しかしながら、価格的には高額な物は対象外と思われる。
		小売業（燃料）	一部の企業は取引量が増えてきている。
		小売業（時計）	円安・株高等の要因も含めて、地方にもそろそろ出てくると思われる。
		観光型ホテル	消費税増税前の駆け込み需要が見込まれる。
		タクシー運転手	来春には消費税が8%になる予定で、そこまでは駆け込み需要の影響もあり、消費が一段と進み、タクシー業界も一時的にしろ多少は恩恵に与れると思った。
		ボウリング場	大企業に回復がみられる。
		ゴルフ場	近隣ゴルフ場の事業転換によるゴルフ場閉鎖があり、1~3月の冬期の来場増が見込まれる。消費税8%の実施に対応して来場者増加が予想される。
	レジャー施設	4月からの消費税率引き上げによる駆け込み需要が想定される。	
	企業	水産業関係者	消費税の影響などで、一時的かもしれないが、変化がありそうである。
		製造業（電気機械器具）	普段の仕事や、仕事を通して接するお客様の様子から判断して、少しずつ景気が上向きであると感ずる。
		製造業（電気機械器具）	受注予測からみると、3か月先の前年比が少し増加しているので、やや良くなるのではないかとと思われる。
		製造業（電気機械器具）	徐々に受注が増加しており、増産体制に追われ始めているため、今後の景気回復が見込めるようになってきた。
		製造業（電気機械器具）	新規品の受注が確定している。増税前の駆け込み需要がありそうだ。
建設業		当面は同様の状況が続くと思われるので、景気は上向きだろうと思う。	
不動産業		年度末までは、大きな消費（住宅や車）だけではなく、日用品も含めた駆け込みがあると思われる。	
雇用	求人広告	運送業と派遣業の求人募集広告がやや増えてきている傾向にあるので、徐々に景気回復の流れがあるのではないと思う。	
	学校就業関係者	高校の先生からの話では、学生の就職内定率は昨年度より高いということだ。	
変わらない	家計	小売業（水産物）	4月からの消費税8%がどう動くの心配。
		中国料理	消費税が上がる直前なので、業種によって忙しい所とそうじゃない所の差が大きくなっていくのかなと思います。全体の景気的には、変わらないであってほしいです。
		ドライブイン	消費税アップ前の駆け込み景気だけで、賃上げまでいかないでしょうから、冷えていくことはあっても、良くはならないと感じています。
		ゴルフ場	小売店の店主たちが業績が年々悪くなっていると話すのを聞く。
		ゴルフ場	首都圏からの来場客の減少、単価も下がっていることを考慮すると、現在の状況は当分続きそうな気配である。
		住宅販売会社	4月以降は分からないが、直近3ヶ月では変化はないと思われる。
	企業	林業関係者	現在の状況が長続きするか、変わらないで欲しいという願望があります。
		製造業（精密機器）	今の状況は続きそうだ。
		製造業（電気機械器具）	上向きの仕事状況より、当面はまぎまぎの状況で推移すると思う。
		製造業（輸送用機械器具）	来春実施される消費税増税アップ(5→8%)に伴う軽自動車への増税や取得税の軽減等の方針決定によって自動車販売に大きく影響すると想定されるので、動向を注視したい。
		情報通信業（情報サービス業）	商談は増えてきているが、売値は上がらず、売り上げにはつながらない状況が続くものと思う。
		金融業	地元中小企業経営者からは、依然として先行き不透明との意見が多く、地域経済が活性化するには時間がかかると思われる。
	雇用	公共職業安定所	昨年12月~3月にかけて、管内主要企業での早期退職・退職支援制度の実施があり、さらに6月まで追加実施された。下請け企業を含めた管内企業等への影響があるものと思われ、当所の8月から10月の有効求人数をみると、対前年同月比でマイナスからプラスへ転じてきた。少しずつ回復してきた感じはするものの、管内事業所に現況をたずねると、これから仕事がどの程度入ってくるのか現状では分からない状況であり、不安であるとの声も聞かれるところである。
		求人開拓員	情報業界では、人材不足と言って募集をかけているが、仕事量が増えているのではなく、情報系に興味を持つ若年者が減少している為の結果なので、まだまだ景気上昇機運ではない。

やや悪くなっている	家計	商店街代表者	正規社員より派遣が多く、若者に労働意欲が喪失していると思う。加えて消費増税は、雰囲気ネガティブになっている。ネット利用、リサイクル利用が多くなっている。
		スーパー	うちの客層は若い人が少ないので、9月決算を見ても、人数が頭打ち。
		コンビニエンスストア	まだ現状では感じないが、来年以降消費税が上がる中で、給与が上がらず、悪くなると思われる。
		コンビニエンスストア	市内の企業関連の先行きの不透明感は強いので、消費が活発になることは考えにくい。
		衣料品販売店	買い控えが依然として続くでしょう。
		小売業（弁当・惣菜店）	地元の大企業の変化に対し不安感が見られ、節約に動くのではないかと。
		自動車販売店	自動車の場合、消費税は登録日が起算となるため、3か月後の契約は消費税が増税される可能性が高く、販売は落ち込むと予想される。
		小売業（酒類）	近隣企業も、業績不振の話が多く聞かれる。なお、得意先飲食店様も静かであり、良い話題が少ないです。
		スナック	将来が見えないので、消費が減ると思う。
		観光型ホテル	今月が良い。
		タクシー運転手	消費税の問題等不安材料がある。
	クリーニング店	全くといっていいが、ほとんど景気の良い話は聞かない。	
	企業	製造業（製缶）	現在の受注が単発的で、先の見通しは何ともいえない。また、他社との競合も厳しくなる。
製造業（電気機械器具）		メインとなる業種が、例年ではあるが年度末に向けて落ち込む。	
悪	家計	居酒屋	客単価が低い。
		タクシー運転手	税金等の値上げが予想される。

## (2) 県央地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	理・美容店	毎年売上げの良い月である。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	一時的だと思いますが、消費税アップの駆け込み需要が期待できる。
		百貨店、総合スーパー	卒業式や入学準備品は必需品であり、3か月先の3月は需要が伸びるのは毎年のことである。しかし、消費税増税前の駆け込みで、さらに伸びると思われるため、景気はやや良くなると思う。
		スーパー	増税前の高額商品購入と、デイリー商品（化粧品等）の買いだめが発生すると考えられ、プラスになると判断した。
		スーパー	消費税の値上げがあるので、駆け込み需要があると思う。ただ、お金に余裕のある人は少ないようなので、それほど売上げは増えないと思う。
		コンビニエンスストア	年末にかけて質の高い商品を買われるお客様が、今年は増えると思われる。
		自動車販売店	3月までは、駆け込み需要による購入増が見込めるのではと思います。
		専門スーパー	来年の消費税アップに伴い、特に高額品の需要や、まとめ買いが多くなると予測され一時的ではあるが、景気を押し上げるので良くなっていると思われる。
		タクシー会社	冬のボーナス支給及び来年春の消費税率アップ前の消費行動が、タクシーの需要にやや影響を与えらると思われる。
		タクシー会社	12月に入り前年同月比の日毎状況から、上昇傾向の流れに変化はなく続いている現状から判断して、やや良くなっていると感じます。
	ドライブイン	来年、新年を迎えての3か月先ですので、当店は繁忙期を迎えますので、期待をしたい。県内外の団体様が増えると思います。	
	建築設計事務所	消費税アップに伴う影響があると思われる。	
	企業	製造業（精密機械器具）	先月末からまとまった受注があり、それらの売上と3月末決算期による、当月受注・当月出荷の売上が期待出来る。
		運輸業（道路貨物運送業）	年度末に加え増税前の駆け込み需要などにより、貨物の動きが活発になる。
		情報通信業（情報サービス業）	利鞘縮小の悩みはあるが、投資関連商談が少しずつ話題に出て来ている。市場や顧客様子からの期待感もあり、3ヶ月先の年度末に向かって、景気は徐々に上向くのではないかと。
不動産業		再度来春の増税前の住み替えが多少例年より多くなりそう。	
雇用	求人開拓員	消費税のアップが目前にあり、一時的に消耗品・家電製品などの駆け込み需要が多く発生するのではないかと。	
変わらな	家計	商店街代表者	3か月後の景気は不明です。趣味趣向品、美容、健康関連、飲食等において、自分のこだわりを重視している物においては、高額商品・料金の動きが出てきたり、来年4月からの消費税が上がる駆け込み需要で、景気が回復してきたように言われているが、当店においては、お客様が「ほしい目的商品」ではないので、来店客は横ばいで、購入単価が上がらないので良くならない。
		百貨店、総合スーパー	消費税アップ直前は、食品も買い込みがあると思う。かなり限定的だと思う。
		スーパー	3月末頃に、一時的に需要はあるかと思いますが、本当に一時的かだと思います。
		スーパー	増税前で多少のアップはあるかもしれないが、その先は落ちる。
		コンビニエンスストア	従業員（パートさん）の関係者から、給与含めて希望ある話があり聞いてこない。店舗周辺の企業様も同様、現状維持であり、今まで以上の景気回復は感じられない。
		家電販売店	農業のお客様は、景気が悪いので物を買えないという人が多い。
		農産物直売所	年末までのギフトの予約、ディナーの予約に特に変化がない。
		スーパー	地方で一般の消費者が経済活性化の恩恵をうけるには、あと一年ぐらいかかるのではないのでしょうか。
		レストラン	趣向品については変わっていない。
		都市型ホテル	変わる要素が見当たらない。
		都市型ホテル	3か月先の予約状況も、現在例年より伸びていない。今後期待はしているが、大きくは伸びないと思われる。
		観光型ホテル	消費増税を前に若干景気が停滞すると思う。アベノミクス効果で、一部で高額商品が好調と言われるが、限定的と思う。
		タクシー運転手	今後3か月先も同じように低水準で推移すると思われる。
		タクシー運転手	このところの商品の値上げラッシュは、驚くことがある。利益率も業種によってプラス、マイナスもはっきりしている。3か月後もこの傾向は続くと思われるが、現状維持はしていると思う。
旅行会社	3月も今の状況からみて、厳しいと思います。		

変 わ ら な い	家計	観光名所	アベノミクス等で、景気の上昇が報道されるが、依然地方では厳しく、消費税増税の前に高額商品を買ってしまうというお客様も多く見受けられる。また、商品を購入するときに、選ぶ目も厳しい様に感じる。
		ゴルフ場	オフシーズンに入り、客単価の上昇が見込めない。
		レジャー施設	新規契約の問い合わせはない。
		レジャー施設	消費税アップ前の駆け込み需要で、景気も良くなると考えられるが、レジャー関係への支出は伸びないと思われる。
		理・美容店	最近（ここ数年）は、ヘアスタイルが決まってしまっていて、たとえばパーマスタイルが流行していない、ストレートパーマも最近少ない、カラーはホームカラーで染めている方が多い。そのせいもあるかと思う。
変 わ ら な い	企業	製造業(食料品)	消費税増税の問題もあり、原材料値上げの懸念もあり、変わらないと思われる。
		製造業(印刷・同関連業)	大きな仕事がなく一気に挽回するのは難しく、短期的には地道に進むしかない。
		製造業(印刷・同関連業)	良くなる気配が感じられない。
		製造業(窯業・土石製品)	目立った動きが感じられない。
		製造業(金属製品)	増税の駆け込み需要の反動が若干感じられる。ピーク時よりは落ち込むが、一定以上の稼働率で推移してゆくと思われる。
		製造業(一般機械器具)	大手の仕事をたくさんしている企業さんと会いますと、今度はどの国へ行くの、と海外進出の話ばかりです。中小、大手と海外に出てしまえば日本国はどうなるのでしょうか。本当に考える方はいないのでしょうか。大変なことになります。
		建設業	新たなアクションが見られない。
		金融業	当地域の活性化に特段の変化無く、現状変わらないと判断する。
		サービス業(広告業)	良くなる材料が見当たらない。
変 わ ら な い	雇用	人材派遣業	まだまだ先行き不透明である。
		求人広告	お客様との会話内容に明るい材料がない。
		公共職業安定所	消費税増税前の駆け込み需要等の影響により、今後も緩やかな景気回復傾向は持続していくと思われるが、雇用調整助成金等の相談状況からも、特に製造業を中心として景気回復は感じられず、先行き不安定な状況にある。
		学校就業関係者	3か月先は、学内行事もあるが、特に学生の状況の変化はない。
や や 悪 く な っ て い る	家計	レストラン	競合施設増加の影響が考えられるので、良くなる要素が乏しい。
		割烹料理店	忘年会・新年会も落ち着くだろう。
		ボウリング場	料金帯から考えますと、料金の安い時間に来場するお客様の数は昨年と同じですが、他の時間帯にお客様が少なくなってきました。使用する金額も昨年比で90%でした。
		住宅販売会社	駆け込み受注の反動が顕著。消費税増税もあり、しばらく悪い状況は続きそう。
	企業	農業関係者	冬期のいちごハウス農家や、花き農家は、暖房費増でさらに苦しくなる。
		製造業(食料品)	増税に備えてよりいっそう財布の紐が固くなりそう。
	サービス業(コンサルタント業)	消費税が上がり、一時的と思われるが冷え込むと思われる。	

(3) 鹿行地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	家電販売店	消費税増税直前ですので、当然販売金額は出るでしょうが、4月以降は反動があると予想。
		レストラン	20年前のバブルを経験した方々が、お金の使い方を勉強したので、無駄な浪費は避けるのでしょうが…？お金は上手に使っていくと思います。ゴルフ・旅行は20年前の半額で遊べる。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	全般的に消費意欲は上昇傾向にあり、良くなる方向にあると期待している。
		コンビニエンスストア	消費税増税前の駆け込み需要は間違いなくありますが、その後の落ち込みを考えると大きく良くなるとは考えられません。
		自動車販売店	タクシーも代行車も、前年と比べたら良くなっている。店のお客も増えていると思う。仕事を探している人が少なくなっていると思う。
		小売業（菓子販売店）	来年3月の売上げは、4月から消費税が8%になるので少しは対前年比の売上げが伸びると思う。
		小売業（酒類）	来年度の税改定に伴う需要は見込めると思うが、継続的には続かないと思われる。一方で富裕層による需要が（問い合わせなど）高額洋酒高額焼酎等も若干ではあるがあります。
		割烹料理店	消費税増税前で、一時的に買いだめなどで消費は上がると思う。
		和食食堂	社会全体では景気回復傾向と報じていますが、中小企業では厳しいのが現実です。今後3か月も景気は大きく良くなることはないと思います。
		ゴルフ場	予約推移も好調で、昨年同時期より予約数が多い。
	企業	製造業（食料品）	やはり消費税増税前で、お客様の購買意欲は高まると思うが、食品に関してはあまり関係ないと思う。しかし、雰囲気的にある程度の伸びはある様に期待している。
		製造業（食料品）	原料高が持続する中で、若干の売価アップが見込める。
		製造業（鉄鋼業）	新聞記事等で労働組合がベースアップを要求するとの報道があり、期待感が感じられる。
		建設業	平成26年4月までは新築棟数が多いと思います。
		運輸業（道路貨物運送業）	最近全般的に仕事量が増加してきているのか、有休車両がないかなど、問い合わせが増えている。
		不動産業	平成26年3月までは消費税の一部駆け込みで、中小の建築業者はだいぶ忙しいのではないかと。物の値上がり心配だ。
サービス業		安倍政権になってからの経済運営の成果が、实体经济への影響を生じ、特に製造業に対し、具体的な効果が出始めると考える。	
雇用	人材派遣業	消費税の引き上げ前の3月までは更に忙しいのが続くと思われませんが、稼働率は上がっても収益がそのまま連動しないので、それぞれの経営者の派遣料金の改定は厳しい限りです。政府の様々な景気対策により4月以降の持続を期待するのみである。	
	民間職業紹介業	現在の求人状況が持続し増えていくものと思われる。	
変わらない	家計	スーパー	特に、無駄を省いた目玉商品、日替わりお買い得品に、お買い上げが集中している。普通の商品価格ではやはり売れない。
		コンビニエンスストア	消費税増税を目前に、価格への意識はより強くなると予測される。横ばいか、若干悪い方へ傾くのでは。良くするためには、価格適及より価値適及を貫くことで消費マインドを替えられるかが勝負になる。
		小売業（金物店）	鉄鋼の需要の落ち込みと、材料のだぶつきで、景気が悪くなっています。外注はやや良くなってくると思います。
		小売業（書店）	低価格競争中は変わらないと思われる。
		洋食食堂	ランチ時とディナー時のお客様の流れが、パターン化してきている。
		タクシー運転手	現状では上昇する要因は見当たらない。
		タクシー運転手	夜の人の動きが目安になると思う。
		レジャー施設	現在の政府の行っている景気対策が、効果的に影響することを期待しているが、当地域においては、その効果が購買力等においては感じられないと思われる。
		理・美容店	今、この現状で、3か月先が景気が良くなるとは思えない。むしろ、消費税増税やらで、変わらなくてほしいものです。
		理・美容店	生活向上の期待感がやや薄れ、現実的に消費の優先を日々の生活の必需品に回すようになると思います。
		室内装飾業	新築をあらこちらで建てているがハウスメーカーさんが多く、又、仕事に来る人は県外から来るそう。そして地元の職人さんは指をくわえて眺めています。
住宅販売会社	増税前の駆け込みはすでに動いているので、急激な変化はなさそう。		

変 わ ら な い	企業	製造業（化学工業）	原燃料の動向次第であるが、多少のブレはあっても高止まり傾向は続くともっており、即効性のあるコストダウン対策も考え難いことから、増収は難しい。
		建設業	公共工事増に期待するところがありますが、まだまだ明るくないように思われます。
		運輸業（道路貨物運送業）	来期の消費税増税を控えて、3月まで現在のまま動いていくと考えている。むしろ4月から6月までの落ち込み対策を対応することが大事になってくる。
		保険業	車の買い換えが見られるが、軽自動車や、ハイブリッド車に替えている。ガソリン代を抑えているようにみえる。
	雇用	公共職業安定所	業界にもよるが、製造業では中長期的には不安があり、直接雇用でなく、派遣・請負等で様子をみているところもある。
		学校就職関係者	就職状況等、良くはないがそれほど悪くもない。
就職支援センター		鹿島・神栖地域の素材産業の影響が強い当地域では、円安・公共事業主導の景気回復の実感があまり感じられず、一部に見られる求人改善も、消費税増税を控えた駆け込み需要の域を出ない様子である。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	小売業（食品）	年明けると、例年3月頃までは、あまり動きが少ないように思う。
		スーパー	消費税増税があるので、心理的に良くないと思います。
		小売業（薬品店）	消費税増税前で、日用雑貨や医薬品類は大きな買い物の為に買い控えられると思う。
		日本料理店	食材は値上がりしても、質を落とせないで原価は上がってしまう。さらに消費税も上がる。
		タクシー運転手	電力会社での工事が一段落し、乗車率は落ちると思う。消費税増税の不安から上向きは期待できない。
		タクシー運転手	消費税アップの時期となり、消費の落ち込みが考えられます。
		ドライブイン	大きな景気回復が見込めない。
		クリーニング店	農業の人は、秋の台風、雨、自然災害で、作物やハウスや家屋が打撃を受けている。
	住宅販売会社	増税の反動があると思う。	
	企業	金融業	大企業と比較して、競争力の低い中小零細企業の経営者及び従業員は将来に不安を感じていると思われる。大企業との格差が広がる程、心理的不安から消費を手控えることになり、景気はやや悪くなっていく傾向にある。
悪	企業	製造業（輸送用機械器具）	消費税導入に従って、買い控えがあると思う。来年3～8月頃にかけて、消費力は低下すると思われる。

## (4) 県南地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	企業	建設業	年度末で官公庁関連工事が増えるのは毎年のことである。しかし、消費税がらみの工事発注が増えることと、原発・復興関連による職人不足が影響して、工事受注が減少することはない。今以上に景気は良くなると思う。
やや良くなっている	家計	スーパー	増税前の駆け込み需要が多少ではあるが期待される。
		小売業（酒類）	消費税増税前に、駆け込み需要があると思う。
		小売業（生花店）	建設関係が駆け込み需要で3月末のぎりぎりまでは伸びると思う。
		農産物直売所	当店に関しては、これからもお客様は来てくれると信じている。
		農産物直売所	2014年2月～4月にかけて、イベントを行う予定。
		専門スーパー	3か月後は消費税の駆け込み需要があり若干は良くなると思います。
		都市型ホテル	宿泊及び宴会・レストランの予約が多少増えてきているので、現在よりは良くなると思われる。
		タクシー運転手	年末、年始で多少は伸びることを期待します。
		タクシー運転手	大手企業やそれに近い法人、団体の業績及び従業員の所得増加が見込まれる。ホテル、飲食店からの複数台の迎車傾向がみられる。
		タクシー運転手	消費税値上げ前の駆け込み需要が増加すると考える。
	建築設計事務所	来年度の仕事の予約がある。	
	企業	製造業（食料品）	ボーナス等も多くなった企業もあるので多少は良くなってほしい。
		製造業（窯業・土石製品）	40歳前後の借り上げ住宅を含む借家住まいの一部社員のなかに、消費税がらみで持ち家をしたものが何人かおり、その影響も今後しばらく続くと思います。
		製造業（窯業・土石製品）	年度末を控え、公共事業も増えてくる。
		製造業（非鉄金属）	主力大手自動車メーカーの3ヶ月インフォメーションでは、輸出を中心に好調な生産を維持できる見通しから、発注量も高水準になる予定。今後の能力増強のための設備投資を検討する予定。
		建設業	やはり、3月末までの駆け込み工事が多いのではないかと。現状で2～3月初めまでは予定が詰まっている。
		運輸業（倉庫業）	取引先企業では、来年の消費税値上げにより、製造が増える可能性があり、倉庫保管になると思われるが、販売増加になるかどうか分からない状況。
	雇用	学校就職関係者	店舗拡張などの情報が入っている。それに伴う求人が増えており、景気の上向いている様子が見える。
	変わらない	家計	小売業（酒類）
スーパー			消費税増税の直前で、売上高のアップは見込まれるものの、景気自体は変わらない。
スーパー			売上げは順調に回復しており、この傾向は続くと感じる。しかしながら、値上げを据え置いて販売している商品が増えており、利益面で厳しい状況になっていくと思われる。
スーパー			消費税アップ前の駆け込み需要があるかもしれないが、景気が良くなる要素はない。
コンビニエンスストア			消費税の増税等はあるが、お客様自身が価値を感じるサービス、商品を提供し続けることで購入につながると感じている。
ガソリンスタンド			消費税アップがお客様の購買意欲にどのように影響するのかが不透明だ。
和食食堂			期待できる要因が特に見当たらないので、変わらないと判断した。
都市型ホテル			宿泊については、学会やワークショップについても多少減少傾向にありますが、まだまだ開催をしているところもあり、海外のお客様の需要も昨年より伸びもあり、この先も多少安定があると思われます。宴会は、通年で開催企業の宴会は微減、多少特需として宴会を受注するも厳しい状況が見えるか。個人消費は賞与アップでレストラン利用などを期待するが、景気は変わらないか。
旅行代理店			年末年始に向けて、旅行等にかかる出費も増えて良くなると思えるが、その後は逆にかなり厳しい状態になるのではと思う。
タクシー運転手			まだ底辺までアベノミクス効果がきていない。
タクシー運転手			月単位では何も変わらないと思う。
ゴルフ場			現状の景気が続いているような気がする。ただし、4月以降の消費税増税後については、若干の不安がある。
ゴルフ場			現在の様子を景気の上向き傾向とするならば、さらにとは考えにくい。現在の景気を維持できればと考えるのが妥当だ。

変 わ ら な い	家計	レジャー施設	景気が良くなっていく要素がない。消費税増税が控えているので消費を抑えていくのではないかと。
		住宅販売会社	増税前の先取り購入で一時的に景気は良くなるかもしれないが、基本的には変化なしと思われる。
	企業	製造業（家具・装備品）	お客さん消費者の品物（製品）に対する理解が得られない。外国製と国内製の区別がつかない。
		製造業（飲料）	起爆剤がない。
		建設業	まず、相手先の担当課長、部長、工場長、口々に今年度のボーナスどうだろうかねと言っている。私は、某会社の社長から、今年度の営業受注は大変厳しいので、一律5万円くらいにしようと思っていると雑談の中で言われました。このままでは生き残れないと新製品の開発のため、2億円の設備投資を銀行に借り入れし、機械の発注、製品の売り込みに意気込んでいる企業もあり、当社はその仕事に来年2月頃結びつくかどうか。
		建設業（設備工事業）	民間の工事では消費税の増税が関係し、良くなるとは考えにくいですが、来年度の公共事業も減少の傾向と話していました。
		金融業	東京オリンピックが開催されることもあり、良くなるのではという期待感があるが、今後、消費税増税の反動が懸念される。
	不動産業	駆け込み需要後の反動がどうであるのかの予測としては、やや厳しいと思われるが、落ち込みを埋められる対策対応をとっている当社では変わらない予想をしており、逆に今がチャンスで人員増強・支店拡大策をとっている。	
	雇用	求人広告	H26年3月頃は、例年のトレンドで業績は上向くと予想するものの、正規雇用(特に正社員採用)の募集が増えていない現状を考えると、上向きになる要素は感じられない。
		求人開拓員	非正規雇用が増えて採用され、退職者の数は減るかもしれない。非正規が増えて景気が良くなるとは思えない。
やや悪くなっている	家計	洋食食堂	消費税がアップするので、気分的に引き締めてしまうのではと思われる。
		寿司店	消費税の上昇はかなり響くと思います。財布の紐が固くなる。
		ボウリング場	消費税8%への懸念から、やや悪くなっていると判断した。安く近場で楽しむ風潮が出てくる事に、期待感を持っている。
		理・美容店	消費税の絡みもあって、良くなるとは思えません。財布の紐は固くなると思います。大企業から末端の理容業界まで景気が良くなっていくのはまだまだ先の話だと思います。
	企業	製造業（食料品）	これから寒くなり、客足が遠のき、また消費税が上がるので、財布の紐が固くなると思います。
		製造業（印刷業）	見込みを作るための見積り件数が減っている。
	雇用	人材派遣業	通年であると、1～3月期は人の需要は減少する。

(5) 県西地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	商店街代表者	制服の売上げに期待するのみです。
		ドライブイン	消費税増税前の駆け込み需要があり、景気的には良いと思われるが4月以降の落込みが大きくなることを願うばかりである。
	雇用	人材派遣業	仕事(会社からの求人数)が多いため、人を集めるのが大変です。
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	年末年始の他企業の休日状況が、昨年と変化がある。
		家電販売店	消費税増税に対して駆け込み需要が予想される。
		自動車販売店	駆け込み需要があるかと思われます。
		ガソリンスタンド	建設、土木関係や、車販売店などのお客様の景気が上向いてきているようだ。
		理・美容店	消費税が上がる4月までは、この景気が維持していくのではと思う。4月以降も現状維持できればと思うのみ。
		理・美容店	年末から年始にかけて来客数が増えるのは毎年のことですが、今月は特に客数が少ないので、これからまとまって増えるのではないかと思います。
		建築設計事務所	まだいくつか控えている案件がある。
	企業	製造業(食料品)	消費税が上がる前の状況として自動車関連や住宅関連がフル操業をしているようで3月くらいまではいいのではないかと思います。
		製造業(食料品)	大手の発表で業績が上向いているものが多いせいか、直接の取引量も11月から増えている。年末に向けて増加が見込まれるが、例年減少する1月~3月も若干ではあるが増加の予定だ。
		製造業(印刷・同関連業)	地方の零細企業はまだ7~8割が赤字申告だ。そして12月のボーナスもままならないが、上場企業の業績、そして12月の賞与額(平均)が経済新聞等を見ると、前年比で大分プラスになっている。そして、それが消費に回れば、先々、好景気までどうかと思うが、今よりは少しずつ景気回復に繋がり、やがて地方にも回ってくる。そうなることを期待したい。
		製造業(窯業・土石製品)	現政策の円安やアベノミクスの効果がわれわれ中小零細業者へもそのおこぼれが享受できると期待していますが、しかし、現在の成長戦略をより推進しなければ、一過性の好景気で終わると危惧しております。
		金融業	消費税導入前の駆け込み需要増加が見込まれる。
		製造業(印刷・同関連業)	一部ではありますが、仕事の量が増えているようです。
	雇用	求人広告	設備投資予定や販促計画の話をする事があるので、不透明ではあるが今後の投資が行われている。ただ、今後の投資にやや慎重な企業も少なくないので、多少不透明な部分もある。
		公共職業安定所	景気判断も引き上げになり、持ち直しているが、デフレ状況でなくなりつつある状況と、消費税引き上げも控えており、明るい材料がある反面、賃金や消費の面で依然として不安材料がある。
求人開拓員		消耗品(家電)を製作しているところの求人が少し増えた。	
変わらない	家計	スーパー	4月1日の消費税増税前の駆け込み需要での期待感はあるが、4月1日以降を考えると、総合的には変わらないと思う。
		農産物直売所	今月は良くなっていますが、このままの状況が続くだけでこれ以上良くなるとは思えない。
		専門スーパー	消費税増税前の駆け込み需要はあると思われるが、その後の冷え込みを考えると、トータル的には景気が良くなっているとは考えにくい。
		和食食堂	歓送迎会などで、お客様は増えると思うが、原材料費の高騰で、利益率は減少傾向にあり、たいした変わりはないと思われる。
		ラーメン店	消費動向が良くなる要因が思い当たらない。
		和食レストラン	消費税導入前なので、わかりません。
		都市型ホテル	消費税増税直前なだけに、いまいち読めないところがある。
		ビジネスホテル	消費税の引き上げ前の駆け込みの取引やリニューアル、メンテナンス、設備投資があと2~3か月続くと思われる。
		タクシー会社	景気が良くなる要因が見えてこない。(燃料費高騰等により経費増に繋がり、利益率が減少になっていく。)
		タクシー運転手	営業回数が増えてきそうな景気動向にはないような気がする。
		タクシー運転手	地方と都会の隔たりを感じる。
		ドライブイン	まだ景気が良くなっている実感がない。
ゴルフ場	予約状況から判断して、変わらない。		

変 わ ら な い	家計	ゴルフ場	ゴルフ場は閑散期に入るので、景気動向の判断はしづらい。ただ、消費税の問題があるため、駆け込み需要は見込めるかもしれない。
		日本料理店	期待感はあるが、実際にはどうなるか不安感の方が強い。
	家計	レジャー施設	現状では、変わらない状況と考える。景気動向が見えない状況は変わらず、お客さまも無駄な出費を抑える傾向は続くと思う。
		クリーニング店	景気が上向きと言われるほど実感がなく、春先まではお金を使うことを控える気がします。
		住宅販売会社	徐々に円安に動いているのが気になるが、大きな変化はないと思う。
	企業	農業関係者	今後の天候に大きく左右されるが、現状変化はないと考えられる。
		農業関係者	解消の兆しがない。
		製造業（化学工業）	市場・顧客で特に増減情報無し。
		製造業（一般機械器具）	売上げが悪いので、早く良くなって欲しい。
		製造業（電気機械器具）	長期の受注動向が把握できず、現状の人員体制見直し対応を続ける見通しである。
電気工事業		大企業は良くなってきている様に思われるが、まだまだ我々中小企業にまで浸透していないのではないか。良くなることを望む。	
サービス業（コンサルト業）	アベノミクスの効果がすぐに現れるとは思えない。		
雇用	学校就職関係者	当地域は自動車産業、建築機械産業の影響が大きい当面改善を望めそうにない。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	コンビニエンスストア	消費税増税を前に、高額な大きな買い物を行ってしまう反面、日々の買い物については、動きが鈍るものと思われます。
		旅行代理店	お金持ちの方や政治家などは良いが、私たちは良くならないだろう。TPPで安い農産物が輸入されると、安い方に買物が向いていくだろう。今の農家はやめていくだろう。しかし、健康に良い方法で作物した農家は、高値で販売したらいいと思う。私たちが収入を増やし、生活水準を上げなければ、良い方向に行かないだろう。
		タクシー運転手	買い物客もあまりいない。ショッピングセンターの駐車場は少ないと思う。
	企業	製造業（印刷・同関連業）	消費税増税を控えて不安が募り、結果、景気も落ち込むのではないだろうか。
		製造業（金属製品）	年度末になり、発注量は少なくなると思われる。
悪	家計	和食食堂	消費税上げを目前に控え、外食は真っ先に節約の対象になると思います。
		ゲームセンター	人気のあるゲーム機を増しても売り上げの底上げにならず、売り上げが回復する気配がない。

### Ⅲ 景気の判断コメント — 3 その他の意見

#### (1) 県北地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	価格にシビアになっている。店で商品を確認して、ネットで購入する。
	スーパー	料理をしないで、総菜を買う人、または総菜を買う割合が多い。
	スーパー	住宅新築・車の買い換えが見られる。省エネタイプの車が増加。花屋さんの売上げが良い。切り花など良く売れている。ゆとりが出てきたか？
	小売業（弁当・惣菜店）	消費税に対する対応などが話題になる。また、地元大企業の今後の動きが気になるところか。
	小売業（燃料）	個人客の節約志向は変わらない。
	小売業（水産物）	購買意欲は今までと変化なく、景気が良いという話を聞くことがない。消費税8%の景況が4月以降不安。
	小売業（時計）	商工会のプレミアム商品券の売上げが、昨年より早く完売とのことで、期待感がある。
	居酒屋	閉店が多い。
	スナック	宴会等でも、一次会のみで、節約しているように思えます。
	中国料理	企業の統合や、消費税が上がることから、中間層の方たちの外出が少なくなっている様な気がします。
	観光型ホテル	4月以降の増税でかなりの売上減が見込まれる。
	タクシー運転手	地方のアベノミクスの効果があまりない。企業の就職率は上がっているが、逆に失業の方が上回っていることから、景気回復はデマだと思います。一部の富にしか需要のない景気回復は、今の中国と変わりがないと思う。全市民が潤って景気回復と思います。
	タクシー運転手	県北地域が合併の動きが大きくなり、人が余って人材整理の動きが増してきている。
	タクシー運転手	夜、タクシーの仕事をしていると、今の時期の風物詩ともいえるLEDの電飾が、今年は東日本大震災の自粛から大分復活しているように思える。その輝きは、これからの景気の上昇を期待させる気もする。来春には、消費税の大幅なアップもあり、景気はそこで足踏み、下落にならないよう、少なくとも2020年の東京オリンピックの頃までは上昇気流に乗りたいものだ。
	ゴルフ場	東日本大震災の復興ムードが高まり、活気が出ている。近隣企業の人員整理ムードがあり、健康第一でゴルフ愛好家の出足がいい方向に展開している。
レジャー施設	県北地域の景気状況は、スーパー等のお客様の購入状況を見ていますと、いまだにお財布の紐は固いと感じます。消費者心理もあるのですが、1円でも安い物を購入する方が多くみられます。いまだ、景気が回復しているとの実感は薄いです。	
ゴルフ場	9月、10月の天候が悪かったため、11月、12月へずれ込んだコンペもあったようだ。天候不順も重なり、景気回復を感じなくなっているのかもしれない。	
企業	林業関係者	観光客等も、数多く動いているように思えた。道の駅等もけっこう混み合っていた感がある。
	製造業（精密機器）	仕事に偏りが出てきていると思う。頼みたい先は結構一杯だ。
	製造業（電気機械器具）	仕事量の増加により残業手当が多少増えている。ただ長期継続が見込めるわけではなく、将来に対する不安（漠然としたもの。例えば年金等）もあるため、消費しようという気になれない。
	製造業（電気機械器具）	年末ということもあるためか、どの業界においても慌ただしく感じられ、以前よりは景気が回復し始めているような兆しがみえる。
	製造業（電気機械器具）	新聞、テレビ等では景気は上昇傾向にあると伝えられているが、先日忘年会の帰りに代行業者に話を聞いたら、昨年の方が12月は忙しかったとの事で、今年は利用客が1~2割程度少ないとの事でした。
	製造業（電気機械器具）	産業構造の変化によるものか、試作の依頼先が、今までは考えられないところからもあり、中小企業にとっては、大きなチャンスともうかがえる。
	製造業（輸送用機械器具）	自動車メーカーの為替恩恵を含めた大幅収益改善情報からの刺激や、来春の消費税UPを控えた駆け込み特約等の情報に伴い住宅の新築・改造・修復がたいへん目につくようになり、アベノミクス景気改善策が一時的にせよ向上していると感じられる。
	金融業	オリンピック効果を期待する声が多くある一方で、現状の景気に期待がもてないとの意見が多い。
雇用	不動産業	建設業界においては、建築費（資材、労務費等）の高騰に歯止めがかからず、新規事業化が困難。自治体の大型建設工事入札案件の不調もある模様。施設利用料や販売価格については、増税分以上に値上げしにくい状況となっている。中小企業の長期的景気回復（賃上げ、賞与アップ）、安定がカギだと思います。
	求人広告	サービス業界の方は4月の消費税増税に非常に危機感を抱いているように感じる。
	学校就業関係者	建設業関係の人と話したときに、昨年に比べて仕事量が増えていると話していた。やはり景気は上向いているようである。
	求人開拓員	サービス業では、人材縮小をしないで異業種（パチンコ業界とコンビニ）とのコラボレーションをして、高齢者者の雇用を実施している。

(2) 県央地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	報道などでは、景気の上向きが伝えられるが、「まったく感じない。」という意見をよく聞きし自分もそう感じる。
	商店街代表者	毎年、歩行者の通行量調査が行われていますが、南町地区の南側は昨年の通行量の50%ダウンになってしまいました。原因は、ショッピングセンターミーモが閉店したことによると思います。当商店街は、5年前までは空き店舗対策はしなくても出店者がありました。現在は両側で500メートルありますが、4分の1が閉店しています。12月1日から1月31日まで歩道にイルミネーションを装飾していますが、閉店が多く、肝心の店舗が暗く寂しい限りです。どうか県民の皆様、輝いている歩道を見に来てください。
	百貨店、総合スーパー	卵が大幅値上げです。価格の優等生と言われてきましたが、大幅アップです。年末に向けては、多少高単価な物も動くのを期待しています。
	スーパー	卵など、高くなっています。大幅アップです。生活（食事）の必需品なので影響大です。
	スーパー	今までのように寒くなるから服を買いに行こう、ではなく、寒くなったから買いに行こうという風に、直近にならないと購入に至らない、必要になるまでは買わないといった方が増えたような感じがします。
	スーパー	景気が悪い中でも、価値ある高単価商品に関しては売れる商品もある。
	コンビニエンスストア	差別化された質の高く手頃な商品が売れるようになってきた。
	農産物直売所	県外ナンバーのフリーの観光バスが昨年より回復しているように感じる。
	専門スーパー	以前よりも電動工具、自転車、ストーブ等の修理依頼が増えてきている。修理不可能になって、はじめて商品購入を考える傾向にある。
	スーパー	宝飾店の人より、東京で行われた展示販売会にお得意様をご招待しましたが、突然のキャンセルもあり前年の人数をクリアできなかったと聞きました。また、宝飾品を買ってみようというムードにはなっていないようです。
	レストラン	必需品については、高額商品の動きも見られるが、趣向品については変わっていない。
	レストラン	消費税の動向に意識が強くなっていると感じます。
	タクシー運転手	アベノミクスには非常に期待している。少しでも我が町に良い影響を及ぼして欲しい。
	タクシー会社	夜間の需要がそれほど増えていないので、飲酒の機会が増加していないように見受けられる。飲食店やコンビニの閉店が目立つので、イメージ的に景気回復のムードが感じられない。
	タクシー会社	タクシーの利用客が、法人契約顧客の利用頻度が前年同月比で上昇しており、企業が活発に動き始めていると推測します。また、景気動向も上昇気運が高まっている為に、飲食店よりの送迎回数も増加傾向にあります。
	旅行会社	町ではプレミアム商品券を販売して盛況でしたが、旅行費用に回すお客様は少ない。
	ドライブイン	お客様が旅行（日帰りツアー）など、旅行慣れしてるせいか、その都度お土産などは購入されず、自宅用にひとつというお客様が多くなってきたな～と思います。客単価は低くなっています。
	観光名所	お客様の購入する商品が、焼き物等の嗜好品よりも、食料品等の必需品へ大きく傾いているように感じる。食料品は原価率が高いため利益が落ちるので、小売業をも営む弊社としては大変苦しくなることが予想される。
	ゴルフ場	相対的に見ても、お客様の単価が上昇してこない。プレー費、食堂利用の値下げを申込時に相談するお客様が見られるようになってきている。
	レジャー施設	物販部門に関しては、順調に推移しているので若干ではあるが消費は上向き傾向に感じられる。
住宅販売会社	経過措置終了後の反動が予想以上に大きい。	
企業	農業関係者	T P P の行方や、生産調整政策で、今後の農業の将来を不安視している。
	製造業(食料品)	アベノミクスは第一の矢のみ効いているのを実感する。したがって、輸出・金融等、一部大企業が恩恵を受けるだけ。
	製造業(印刷・同関連業)	産業祭などが増え、喫茶店も人が多く町にもぎわいを戻しつつある。
	製造業(窯業・土石製品)	何も動きがないように感じる。
	製造業(一般機械器具)	海外進出の話ばかりです。国、県、銀行、たくさんの海外支援をする公共機関、皆様何を考えているのかな。
	製造業(精密機械器具)	アベノミクス、製造業設備投資の影響による、品質管理用、現場設置型製品の引合い、受注が増えています。
	建設業	震災前ほどでないが萎縮傾向が見受けられる。
	運輸業(道路貨物運送業)	景況感は良くなっているが、燃料コストは高止まっている。
	情報通信業(情報サービス業)	近年、郊外ショッピングモールや駅ビルの集客力が高まり、市街地の空洞化が話題になっているが、確かに其の流れは顕著に感じている。しかし、どこの街にも個性という財産が残っており、これらの特長を生かした街作りに期待する人は多いと思う。
	金融業	飲食業において、地域イベント等を積極的に企画・参加しており商店街の活性化を行っている。
雇用	公共職業安定所	求人数増加のひとつの要因として、派遣・請負の求人増加が顕著である。対前年同月比2倍に近づく状況となっている。大幅に求人数を増加した事業所に対する当所独自の調査によると、短期間の派遣・請負契約によるものであり、会社単位で派遣・請負契約の総数が増加しておらず、派遣・請負業種においても安定した状況には至っていない。
	求人開拓員	今年は、当所の求職者数が増加しております。野菜・果物・乳製品等 諸物価の値上げ、目前に税負担など家計を圧迫する外的環境により一刻も早く安定した職に就きたい方々が多く来ております。しかし、募集予定人数は多いですが採用は、厳しい状況が続いております。

(3) 鹿行地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	スーパー	特にないですが、神栖市でも工場のある神栖地区と農業や漁業が多い波崎地区では景気の差があります。農業者漁業者の景気は良くないです。
	スーパー	ショッピングセンターとしての、テナントのファミレス・居酒屋のお客様数は確保されているので、その支出が堅調である。外食が復調であるため、支出も復調すると考えられます。
	コンビニエンスストア	製造関係の方から話を聞くと、来期予算上乗せに対して承認が下りることが増えているそうです。小売業は厳しい状況が続きますが、業態によっては先行きの明るい所があるようです。
	コンビニエンスストア	F F コーヒーの認知向上は著しく、価格と価値の両面を備えた商品として大きなヒットに繋がっている。一方でプラスアルファの売上げに繋がっていないことが課題。
	家電販売店	飲食関連の入れ替わりが多くなってきた。活性化のためには、良いことと考えます。
	自動車販売店	特に、建設業の業者の人が休みが取れないくらいに仕事していると聞く。
	小売業（酒類）	各家庭における酒類の販売において、一品単価と買い上げ点数が下がっている（昨年対比0.7%）。イベント等の需要期ではあるが、消費の活況は今一歩感じられない。
	レストラン	レジャー、旅行と、生活以外にお金を使っている方々が増えた気がします。
	洋食食堂	食材の値上げが広範囲になっている。冷凍輸入エビ等も品薄が続き、値上げ幅も大きい。9月、10月と台風の影響で来客点数、売り上げともに伸び悩んだ。
	割烹料理店	大震災から、2年半以上たつが、まだまだ土木関係の仕事は終わらず、景気が良いようだ。
	日本料理店	節句やお祝い事でもお金をかけずに済ませているように感じます。
	ドライブイン	茨城の冬の味覚ほしいものは、景気に左右されず売れ行き良好。
	和食食堂	当地域の飲食店業界も、経営を維持するのに必死で頑張っています。当店でも固定客プラスアルファのお客様獲得に、日々取り組んでいるのが現実です。
	理・美容店	特別な感じのある物、今決めないといけない物にはお金を使いますが、後回しに出来る物はなるべく後に、もう一度考えてからお金を使うようになってきている。
	室内装飾業	スーパーの出来事、毎日特売があるのですが、それでも店内に魅力的な商品がないため、客足は少ないようだが、その特売日に超目玉商品がチラシに入ると、我先にと人が押し寄せるものだと感じました。
住宅販売会社	増税と減税のバランスがどうなるのか気になるようだ。	
企業	製造業（食料品）	円高が困る。
	製造業（食料品）	商店への客の出入りが少ない。購買単価が相変わらず低い。
	製造業（食料品）	高額な買物がある場合は、消費税増税前には購入したいですね。自分自身もそうするつもりです。
	製造業（食料品）	大手量販店の末端価格維持の中で、平成26年4月以降、消費税改定に伴う売価表示について「税抜き」方式が大半となる見込みのため、確実に増税分を加味できる状況となりつつある。
	製造業（輸送用機械器具）	大手企業海外進出は、依然として今後も加速が予想される。中小、零細企業（特に製造業）は、円安の影響で原料の値上げ、また、電力費18%以上値上げにより、厳しい経営は、今後も変わらないでしょう。
	建設業	高級品を始めとする、高級志向だとニュースで目にしますが、そのような感じはしません。
	建設業	鹿嶋市海岸近くの住宅は地震のために土地が液状化になってしまい、また、津波の影響（恐れ）から、住宅移転が多くなっている。
	運輸業（道路貨物運送業）	師走でも肅々と貨物が動いている近年の状況である。大口でやたら動く貨物はない。運送面ではますますタイムリーさを求められている傾向にある。
	金融業	NISA（少額投資非課税制度）の問合せが数件あった。今後、政府の政策通りに物価上昇が続くとすれば、価値が目減りする貯蓄より多少リスクをとってでも投資という流れになってくると感じる。
	保険業	売電用太陽光発電施設が多く作られている。1㎡あたり、年9円の地代が入る人がみられる。太陽光発電の町になるのだろうか。
不動産業	一部飲食関連は11月は良かったとのこと。居酒屋さん関係は、平日が暇でしようがないとのこと。	
サービス業	高速道路の交通量についても顕著な増加は見られない。顧客からの引き合い、それに伴う営業訪問活動も拡大基調にはなく、また値引き要請も相変わらずであり、景気回復挙動を実感として感じることはまだない。	
雇用	民間職業紹介業	求人企業（求人人数）が増えてきているが、求職者数が増えてこないの、なかなかマッチングが難しい状況である。
	学校就職関係者	あまり変化がないような気がする。

(4) 県南地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	スーパー	ちょっといい物（高単価の物）も売れる。（例：280円のビール、300円近くするチョコ菓子など。）
	小売業（生花店）	消費増税に対して、中間業者（中小）の排除が今後増えると思われます。各業者で3%増税すると、その分上乗せとなるので、生産から販売へと流通は変わると思う。日本の中小業者の多い流通形態への消費増税は、中間業者淘汰に動く。日本の流通形態には合わない。
	農産物直売所	11月下旬に、当地のレンコンとレンコン粉末がテレビで放送されました。特にレンコン粉末は、ぜんそく、花粉症に良いと話をしたため、問い合わせの電話がひっきりなしとなった。れんこん堀りも間に合わない様子。今の時期は特に、これからもそうあってほしい。
	専門スーパー	住宅関連が良いのか職人さんが増えているような気がします。
	ガソリンスタンド	つくばエリアは雇用環境が良くなってきたせいか、アルバイトの採用が思うように進まなくなってきた。
	和食食堂	それなりに繁盛していた近隣の中華料理店が閉店した。今は売り上げを上げることも大変だが、利益を出すことがとても難しくなっていると思う。（仕入れ原価や電気代の高騰など）
	洋食食堂	銀座のフレンチに行ってきましたが、いろいろ紹介されてたりすると今までは予約が取れなかったりしたのに、その日でOKでした。昼時、席は空いていましたね。
	都市型ホテル	営業先では、思ったより景気のいい企業は無く、しみついた削減で、接待などでの利用、単価の減少が見られる。個人消費では、婚礼受注に関しても横這いで、お客様は特に単価を落とすようなことはしてはいない。むしろこだわり、オリジナルの部分では費用を掛けているようです。
	タクシー会社	タクシーを利用して支払いに来た方で、一度に経費を使えないので何日かに分けて領収書を切ったことがあった。
	ゴルフ場	4月の消費税増税について、お客様が話題に挙げるようになってきている。消費動向にも影響がありそうです。
	ゴルフ場	忘年会シーズンということもあり、忘年ゴルフコンペも多い。ただ、本当の年末は、予約の動きが鈍い。これが少し不安要素にはなっている。
	ボウリング場	レジャーランドの売り上げ状況がどうなるかには興味があるが、安く近場での動きも感じられる。（例）子供会向けボウリング大会が多くなりそうな期待感があり、ダウンも小幅に収まるかも？
	理・美容店	税金の値上がりなど、お客様の楽しい話より、愚痴の方が多くなっているように思える。
	建築設計事務所	設備投資がありそう。
住宅販売会社	やはり消費税増税の話題が多い。特に住宅は額が大きいので、ローン減税との比較でどうなるのか気になるようだ。	
企業	農業関係者	消費増税での変化があると思われる。
	製造業（家具・装備品）	小さい商店が車社会に対応できなかったのか、なかなか売上げというよりお客様が来ない。車社会に対応できなかったつげが回ってきたのでしょうか。
	製造業（窯業・土石製品）	当社の事業は、主に公共事業に集中しておりますが、生コン等の資材不足や人手不足に対応するため、現場ですぐに施工できる当社製品の需要がこれからも期待できます。
	製造業（窯業・土石製品）	消費税値上げ前の住宅、宅地造成の駆け込み需要や、2020年の東京オリンピック決定を受けて、整備が行われるため、建設業界全体としての駆け込みは先行き明るく感じる。
	製造業（非鉄金属）	グローバル化による大手自動車メーカーの海外生産移転が加速化しており、部品メーカーの国内競争は一段と激化している。
	建設業	本業としての業績は全くひどい状況です。当社も47年の実績と積み上げてきた得意先との関係維持を大切にしながら明日の光の到来をじっと待つ。友人企業（異業種も含め）は、もう自分の代で閉じたいとこぼす。某社長は、全盛時代に建てた庭付きで2億円の建物を売却して、野菜作りをやるという。某企業の息子も後を継ぐこともないので、全財産を売って、マンション暮らしとも言う。淋しい限りです。
	建設業	友人の分電盤屋（電気屋）さんは、今まで親子で工事をしていたが、今は5人も応援を頼んでいる。しかしアルバイトは集まるが、職人が集められないという。建設業界の職人不足は今後もオリンピックが終わるまで続くのではないだろうか。
	建設業	中規模（300～500万円以上）の工事物件の見積もりが増えている。数年間あるいは震災以降手つかずの物件のリフォームに動きが出ている。マンションや施設も動き出している。
	金融業	タクシー業の聞き取りでは、売上は横ばいで依然として厳しい。テナント等の入居状況も低迷しており変化がない。
	不動産業	全般的に公的な住宅等が売却され、一般借りに移行している。企業の動向に撤退または進出と二極化の傾向にある。不動産業という業態を広げ、建設関連、福祉関連、太陽光関連等、幅広いニーズの対応に広げていけば落ち込みはカバーできる。支店展開、人員増強等、パイの拡大がポイントと思う。
雇用	求人広告	県外の製造系業種の募集広告（主に派遣・紹介予定派遣）が増えてきている。消費税増加前の新築着工特需かと思われるが、一部の住宅メーカーの下請け工事会社の募集に関し、メーカーから採用補助金が出ているケースがある。
	求人開拓員	県で主催した就職面接会が12月行われた。昨年度の1月の面接会は90名弱の求職者が参加したが、今回は50名弱であった。求職者参加が減った。求職者の数が減ったのか？

(5) 県西地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	政府はアベノミクスと世間を騒がせている。来年4月には消費税8%。我々個人の小企業は、何も恩恵がないどころか逆に10月、11月と冷え込みが激しくなっている。季節は冬だが寒さもそれほどでなく、売上げに激しく響いているのが実態だ。グローバルも大切だが、個人商店にもっと目を向けて欲しい。
	商店街代表者	旅行先で素晴らしいカメラを首から提げている方を何人も見ました。中高年、そして女性の一人旅などです。趣味にお金はいとわない、という方が増えたような気がします。
	時計販売店	地元でプレミアム商品券の販売があり、それを利用した買い物や問い合わせが増えています。
	スーパー	商品の値上げや相場高によって、品単価は上がってはいるが、客単価は昨年とほぼ同じ金額で推移している。
	自動車販売店	株価が上がっている様ですが、車は特に売れるということではないようです。最近、優良企業が、トラック、ライトバンを購入しているかなと思います。
	和食食堂	自動車や家電等は駆け込み需要でなかなか良いと聞きます。
	和食食堂	我が町では、毎年この時期、大感謝祭をしているが、いまいち盛り上がり欠けているので、景気は良くないとは思われない。
	ラーメン店	団塊世代と思われる方々の消費動向は、旺盛にあるように思われます。
	都市型ホテル	来春4月より消費税が増税になるため、製造関係の企業は忙しいと耳にすることが増えました。
	旅行代理店	野菜も値上がりしたままの感じがする。消費税8%になるので、値段の付け方をどうするか、税込みは良くないので、すべて税別と表示するか、迷っている。今後も、住みやすく暮らしやすい景気にはならないだろうと思う方が多いです。
	ビジネスホテル	例年より越年する工事関係の宿泊者が多い。お正月明けの動きも例年より早い。
	タクシー運転手	景気の良い話をされるお客様が少ない。
	タクシー運転手	夜の飲食店が客の数が減っている。また、夜に店を閉める時間が早くなっている。
	ドライブイン	多少高くてもクオリティーの高いものが出始めてきた感がある。以前はクオリティーより価格という感が強かったが、やっと東京での変化がここでも多少ではあるが感じられるようになった。
	日本料理店	都心部では上向きとのことだが、地方ではそれが感じられない。高級品などの売れ行きは良いとのことですが、客単価の低さは変わらない。
	ゲームセンター	近隣を走っている暴走族の影響からか、夜に遊ぶ人たちがさらに減っている様に思われます。毎年、年末は人が増えてくるのですが、全く人が増えてくる事はありません。今後もしばらくはこの状況が続くそうです。
	レジャー施設	普段の仕事状況から考えると、自社製品に関する問い合わせが貿易会社・輸出関連会社からのものが増えてきている。
	理・美容店	ボーナスが昨年より良いと話す客も少し増したかな。
	理・美容店	軽自動車税が上がリ、消費税も増税の動きがあるので、ますます財布の紐も固くなるのではないかと思います。
	建築設計事務所	この景気も消費税アップまでだろう、と言った声がちらほら聞こえた。
企業	製造業（食料品）	求人の際に集めにくい状況が続いている。ほとんど日本人ではなく外国人ばかりという状況となっている。
	製造業（食料品）	今年は年末のボーナスが増える見込みなので、クリスマスプレゼントや家族旅行を奮発しようとしている知人が何人かいる。
	製造業（印刷・同関連業）	職種によっても、一生懸命がんばっているかないかによっても、また地域間によっても、能力があるかないかによっても等々、格差社会になってしまった。運の良い職種、人が景気を左右する時代はいかなものか。地方にも中小零細企業もまあまあ景気になれば、心も豊かになり、事件も犯罪も少なくなり、幸せな世の中になる。
	製造業（窯業・土石製品）	先日行った信州の温泉ホテルは、倒産した物件を、別の業者が買い取り、今までのやり方とは全く違った手法でたくさんのお客様を受け入れているとのことでした。やり方次第で、業態を変えることで設備・ハード面を変えなくても、再生はおろか繁盛につながることを目の当たりにしました。
	製造業（金属製品）	回復の遅れが気になり出し、製造業者ならずともイライラ感やあきらめムードが出ている。
	建設業	建設業は人や仕入れの高騰で良くない。
	不動産業	消費税の影響か売買客は確実に増加している。事業用物件の来客が多い。
	サービス業（コンサルティング業）	我々県西地区は圏央道、新4号バイパスの4車線化、筑西道路と道路工事は急ピッチで行われておりそれに関係する工事車両等は忙しそうに動いていますが、地元業者はそれらの恩恵を受けているようには見えません。従ってそこに勤務する人達の所得が増加しているかという点と甚だ疑問であります、本当の意味での景気回復はまだまだ先のような気がします。
	雇用	人材派遣業
求人広告		数ヶ月前に比べて、出店計画をよく耳にする。
公共職業安定所		求人数が増加の反面、依然として企業整備が続いている状況。
学校就職関係者		業種によっては徐々に良くなっているとの声も聞かれるが、4月以降の消費税増率を不安視する声も多く聞かれる。
求人開拓員		派遣の求人が増えている。